ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート(案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定 依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価が なされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取り まとめるものである。

1. 概要

ダゾメット、メタム、メチルイソチオシアネートがそれぞれ農薬として使用されている。ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられている。

このため、ダブメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの食品中における残留 基準について、まとめて検討することとする。

(1) 品目名:ダゾメット[Dazomet (ISO)]

メタム「Metam (ISO)]

メタムアンモニウム[Metam-ammonium (ISO)]

メタムナトリウム[Metam-sodium (ISO)]

メタムカリウム[Metam-potassium (ISO)]

メチルイソチオシアネート[Methyl isothiocyanate (ISO)]

(2) 用 途: 土壌くん蒸剤

メチルイソチオシアネートは土壌くん蒸剤であり、土壌中で気化・拡散して殺菌、 殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

ダゾメットはチアジアジン骨格をもつ土壌くん蒸剤であり、メタムはジチオカルバメート系の土壌くん蒸剤である。両剤とも土壌中で速やかに分解し、主にメチルイソチオシアネートとなり、このガスが土壌中に拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

(3) 化学名及び CAS 番号

ダゾメット

Tetrahydro-3, 5-dimethyl-1, 3, 5-thiadiazine-2-thione (IUPAC) 2*H*-1, 3, 5-Thiadiazine-2-thione, tetrahydro-3, 5-dimethyl- (CAS: No. 533-74-4)

メタムアンモニウム

Ammonium methyldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, N-methyl-, ammonium salt (1:1) (CAS: No. 39680-90-5)

メタムナトリウム

Sodium methyldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monosodium salt (9CI) (CAS: No. 137-42-8)

メタムカリウム

Potassium methyldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monopotassium salt (9CI) (CAS: No. 137-41-7)

メチルイソチオシアネート

Methyl isothiocyanate (IUPAC)

Methane, isothiocyanato- (CAS: No. 556-61-6)

(4) 構造式及び物性

ダゾメット

$$H_3C$$
 N
 N
 CH_3

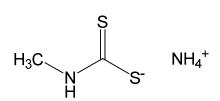
分子式 C5H10N2S2

分子量 162.28

水溶解度 3.5 g/L (20℃)

分配係数 log₁₀Pow = 0.6

メタムアンモニウム



分子式 C2H8N2S2

分子量 124.23

水溶解度 1,368 g/L (20℃)

分配係数 $log_{10}Pow = -2.25 \sim -2.27$ (20℃)

メタムナトリウム

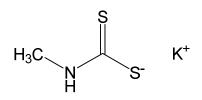
分子式 C2H4NNaS2

分子量 129.18

水溶解度 >1000 g/L (25℃)

分配係数 log₁₀Pow = 0.04 (25℃)

メタムカリウム



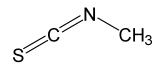
分子式 C2H4KNS2

分子量 145.29

水溶解度 88.2 g/L (20℃)

分配係数 log₁₀Pow = -2.9 (25℃)

メチルイソチオシアネート



分子式 C2H3NS

分子量 73.12

水溶解度 8.2 g/L (20℃)

分配係数 log₁₀Pow = 1.1 (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名、使用量、使用時期となっているものについては、今回農薬取締法(昭和23年 法律第82号)に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 96.5%ダゾメット粉粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	が ゾ メット を含む農 薬の総 使用回数
キャベツ 非結球メキャ ベツ はくさい	苗立枯病 (リゾカトニア病 (リゾカトニア病 病 株 黄 ガーティシリウム 素 病 病 病 病 病 病 病 が 一 ティシリウム 本 2 年 生 黄 生 ぶ 病 れ 病 れ 病 な で 化 と チュウ モ 生 雑 病 根 ガーディ 生 生 雑 病 は アナ・エ キ エ ア エ ア エ ア エ ア エ ア エ ア エ ア エ ア エ ア	20~30 kg/10 a	は種又は定 植 21 日前 まで 定植 21 日 は種 21 日 は 21 日 まで	1 回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1 回
だいこん	ネグ サレセンチュウ	10~20 kg/10 a	は種 21 日 前まで			
かぶ	根こぶ病 萎黄病 一年生雑草	20~30	は種又は定 植 21 日前 まで			
こまつな	萎黄病 根こぶ病	kg/10 a	は種 10 日 前まで は種 21 日			
しろな	一年生雑草		前まで			

1) 90.		(C)		I		
作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	が が を含む農 薬の総 使用回数
非結球あぶ	根こぶ病	30 kg/10 a				
らな科葉菜						
類(こまつ						
な、しろな、			分€14日			
チンケ゛ンサイ、ひ		20~30	は種14日 前まで			
ろしまな、	一年生雑草	kg/10 a	削まり			
みぶな、み						
ずなを除						
<)						
フ゛ロッコリー	テンサイシストセンチュウ	30 kg/10 a	は種又は			
カリフラワー	根こぶ病	20~30	定植 21 日		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	
	一年生雑草	kg/10 a	前まで			
つぼみな		20 kg/10 a	は種又は			
五、上、八十		00.1 /10	定植 21 日			
チンケ゛ンサイ	根こぶ病	30 kg/10 a	前まで			
	一年生雑草		は種又は	1 🗔		1 🗔
ひろしまな			定植 14 日	1回		1 回
		30 kg/10 a	前まで			
みぶな	立枯病(ピシウム菌)		は種 12 日			
みずな	根こぶ病		前まで			
	一年生雑草					
はつか	一年生雑草	20 kg/10 a	は種 35 日			
だいこん			前まで			
	苗立枯病(ピシウム菌)	200~400			土壌に本剤の所	
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	$\mathrm{g/m^3}$			定量を加え十分	
J > 14	ماريد ب				混和する。	
きゅうり	つる割病		は種又は			
	半身萎凋病		定植 21 日		七刻のごみ目さ	
	白絹病	20~30	前まで		本剤の所定量を	
	一年生雑草	kg/10 a			均一に散布して	
ユンデエ・	苗立枯病(リゾクトニア菌)				土壌と混和する。	
かぼちゃ	フザリウム立枯病					
	一年生雑草					

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
メロン	黒点根腐病 つる割病 半身萎凋病 黒変根腐症 白絹病 一年生雑草 紅色根腐病	20~30 kg/10 a 30 kg/10 a			本剤の所定量を 均一に散布して 土壌と混和す る。	
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200~400 g/m³			土壌に本剤の所 定量を加え十分 混和する。	
すいか	つる割病 白絹病 一年生雑草	20~30			本剤の所定量を均一に散布して	
にがうり	つる割病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	kg/10 a	は種又は定 植 21 日前 まで	1回	土壌と混和する。	1回
	苗立枯病(リソ゛クトニア菌)	200~300 g/m³			土壌に本剤の所 定量を加え十分 混和する。	
ミニトマト	萎凋病 褐色根腐病 白絹病 根腐萎凋病 半身萎凋病 キョブ・センチュウ 一年生雑草	20~30 kg/10 a			本剤の所定量を 均一に散布して 土壌と混和する。	
	紅色根腐病	30 kg/10 a				
	青枯病	30~60 kg/10 a				

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	が が が が が か 含む 農薬の総 使用回数
なす	青枯病 苗立枯病(リゾ・クトニア菌) 半身萎凋病 白絹病 ねコブ・センチュウ 一年生雑草	30 kg/10 a	は種又は定 植 21 日前 まで			
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病 黒あざ病 萎凋病 一年生雑草	kg/10 a	植付 21 日 前まで			
ピーマン	半身萎凋病 萎凋病 青枯病 白絹病 苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草	30 kg/10 a	は種又は定 植 21 日前 まで	1 回	本剤の所定量を均一に散布して	1 回
とうがらし 類	苗立枯病(リゾクトニア菌) 萎凋病 疫病 青枯病 一年生雑草	30 kg/10 a	定植 21 日 前まで		土壌と混和する。	
	黒腐菌核病 紅色根腐病 ネギハモグリバェ	30~60 kg/10 a 30 kg/10 a				
ねぎ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 白絹病 小菌核腐敗病 萎凋病 根腐萎凋病 ねコブセンチュウ 一年生雑草	20~30 kg/10 a	は種又は定 植 14 日前 まで			

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ダップメットを含む農薬の総使用回数
わけぎ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草	20~30 kg/10 a				
	黒腐菌核病	30~60 kg/10 a				
	紅色根腐病	30 kg/10 a	は種又は定 植21日前			
たまねぎ	乾腐病 白絹病 一年生雑草 ネコブセンチュウ	20~30 kg/10 a	#211 m まで		本剤の所定量 を均一に散布 して土壌と混 和する。	
	苗立枯病	20~40 kg/10 a				
	黒穂病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	秋期(翌春 は種)			
葉たまねぎ (苗床)	一年生雑草	10~20 kg/10 a	は種 14 日前 まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。	1 回
にんにく	紅色根腐病 白絹病 イモグサレセンチュウ 一年生雑草	30 kg/10	植付28日前まで			
らっきょう	根腐病 乾腐病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	а	植付21日前まで		本剤の所定量 を均一に散布 して土壌と混 和する。	
K 6	乾腐病 白絹病 一年生雑草	30kg/10 a 30~60 kg/10 a	は種又は定 植 21 日前ま で			

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ダッドメット を含む農 薬の総使 用回数
にんじん	萎凋病 根腐病 しみ腐病 乾腐病 乾腐病 白絹病 ねブ センチュウ 一年生雑草	20~30 kg/10 a	は種又は定 植 21 日前ま			
パ゚セリ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 疫病 萎凋病 一年生雑草 萎黄病	30 kg/10 a	で			
あしたば	一年生雑草 苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草 萎凋病	20 kg/10	は種10日前 まで は種21日前		本剤の所定量を均一に散布	
しゅんぎく ごぼう 葉ごぼう	安 一年生雑草 萎凋病 黒あざ病	20~30 kg/10 a	まで は種 28 日前 まで	1回	して土壌と混れて土壌と混れて土壌と混れて土壌と混れている。	1回
もりあざみ	一年生雑草 黒あざ病 半身萎凋病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種 21 日前 まで			
レタス	すそ枯病 白絹病 一年生雑草	20~30 kg/10 a				
	ネク゛サレセンチュウ	30 kg/10 a	は種又は定植14日前ま			
非結球レタス	すそ枯病 根腐病 白絹病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	で			

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	が が が が が が た 含 む 農 薬 の 総 使 用 回 数
食用ぎく	センチュウ類 (ハガ [*] レセンチュウを除く) 萎凋病 半身萎凋病 白絹病 一年生雑草 青枯病	20~30 kg/10 a	は種又は定 植 21 日前 まで			
ふき	半身萎凋病 白絹病 一年生雑草	30 kg/10 a				
みつば	立枯病 一年生雑草	20 kg/10 a				
豆類 (未だまん を) ない 未まくい おいい まん や がい ままくい かい ままくい かい ままくい かい ままくい かい	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 一年生雑草 苗立枯病(リゾクトニア菌)	30 kg/10 a	は種 21 日 前まで	1 回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1 回
げん	葉腐病	20~30				
えだまめ	白絹病 一年生雑草	kg/10 a	は種又は定 植 21 日前			
72.25.77	タ゛イス゛シストセンチュウ	30 kg/10 a	まで			

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	が が が が が が た 含 む 農 薬 の 総 使 用 回 数
未成熟そらまめ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 えそモザイク病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種 21 日 前又は定植 45 日前ま で			
さやえん どう 実えんど う	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 一年生雑草		は種又は定 植 21 日前 まで			
かんしょ	紫紋羽病 つる割病 白絹病 ねブセンチュウ 一年生雑草	20~30 kg/10 a				
こんにゃく	白絹病 乾腐病 根腐病 一年生雑草	20~60 kg/10 a	植付 21 日 前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混むする	1 回
さといも さといも (葉柄)	乾腐病 ネグサレセンチュウ 一年生雑草	20~30 kg/10 a			和する。	
しょうが	根茎腐敗病	30~60 kg/10 a				
	一年生雑草		定植 21 日 前まで			
葉しょう が	根茎腐敗病 一年生雑草	30 kg/10 a 20~30 kg/10 a				
みょうが (花穂) みょうが (茎葉)	立枯症 一年生雑草	30 kg/10 a	定植 42 日 前まで			

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ダブブメットを含む農薬の総使用回数
いちご	萎黄病 萎凋病 炭疽病 芽枯病 一年生雑草 青枯病	20~30 kg/10 a	仮植又は定 植 21 日前 まで			
ほうれんそう	要病 ホウレンソウケナカ゛コナタ゛ニ 立枯病 萎凋病 株腐病 根腐病 一年生雑草	a 20~30 kg/10 a	は種 10 日 前まで		本剤の所定量	
てんさい	叢根病 苗立枯病	200~400 g/m³	秋期(翌春 は種)		を均一に散布して土壌と混むます。	
やまのいも	根腐病 褐色腐敗病 一年生雑草	20~30	植付 21 日 前まで	1 回	和する。	1 回
つるむらさき	ネコブセンチュウ 一年生雑草	kg/10 a	定植 21 日 前まで			
しそ	青枯病 一年生雑草	30 kg/10	は種又は定 植 14 日前 まで			
モロヘイヤ	ネコブセンチュウ 一年生雑草	а	定植 30 日 前まで			
チャーヒ゛ル	一年生雑草	20 kg/10 a	は種 42 日 前まで			
なし ぶどう	白紋羽病	100 g/m ²	忌 #b ~1 #b		被害株跡地に本剤の所定量	
りんご	紫紋羽病 白紋羽病	50~100 g/m ²	夏期~秋期		を均一に散布して土壌と十分混和する。	

② 50.0%カーバム剤

	<u> </u>			l		
				本剤		カーバムを
作物名	適用	使用量	使用	の	使用方法	含む農薬
II NA FI	22/14	人/14里	時期	使用	20,1000	の総使用
				回数		回数
					(散布全面処理〈無被覆〉)	
					無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈	
	バーティシリウム萎				して、土壌全面に均一に散布し直ち	
	凋病				に土壌混和をして、7~10日後にガス	
k 8 m					抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植	
キャヘ゛ツ			植付 14 日		付をする。	
	\$ ~ \\n.\.\ +		前まで			
	バーティシリウム萎				(散布全面処理)	
	凋病				原液を水で3倍に希釈して、土壌全面	
	根こぶ病				 に均一に散布し直ちに土壌混和し	
	根こぶ病				て、ビニール等で7~10日間被覆した後	
はくさい	黄化病				ガス抜きを行い、ガス抜き 7~10 日	
	to ota it.	原液とし	植付 30 日		後に植付をする。	
こんにゃく	根腐病	て	前まで	1回		1回
		30 L/10 a			(散布全面処理〈無被覆〉)	
					 無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈	
					 して、土壌全面に均一に散布し直ち	
					に土壌混和をして、7~10 日後にガス	
					抜きを行い、ガス抜き7~10日後には	
	V. 9. 9. 4. 7.		は種 14 日		種をする。	
だいこん	ネク゛サレセンチュウ		前まで		(散布全面処理)	
					原液を水で3倍に希釈して、土壌全面	
					に均一に散布し直ちに土壌混和し	
					て、ビニール等で 7~10 日間被覆した後	
					ガス抜きを行い、ガス抜き 7~10 日	
					後には種をする。	

② 50.0%カーバム剤(つづき)

<u> </u>	, 0/0/2/ / / 24	A) ())C	/																												
				本剤		カーバムを																									
作物名	適用	使用量	使用時期	0)	使用方法	含む農薬																									
1540/20	\ <u>\m\</u> /11		区川門別	使用	区川刀石	の総使用																									
				回数		回数																									
					(散布全面処理)																										
					原液を水で3倍に希釈して、土壌全																										
	青枯病				面に均一に散布し直ちに土壌混和																										
	月 1白7円				して、ビニール等で7~10日間被覆し																										
					た後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10																										
					日後に植付をする。																										
\ 7 \					(灌水チューブ法)																										
1 1 1			植付 14 日 前まで						予め灌水チューブを設置し、ビニール																						
																										等で被覆する。原液 30 Lを水と共					
	祖女担僚院																	に 10 a 当たり水量が 3000 L(100													
	褐色根腐病						倍希釈)になるように灌水注入し																								
												前まで	前まで	前まで		前まで							植付 14 日			植付 14 日				て、7~10日間被覆した後ガス抜き	
																							を行い、ガス抜き 7~10 日後に植付								
		原液として																								1 🗔	又はは種をする。	1 🗔			
		30 L/10 a																									İ			1回	(散布全面処理)
																					原液を水で3倍に希釈して、土壌全										
					面に均一に散布し直ちに土壌混和																										
きゅうり					して、ビニール等で 7~10 日間被覆し																										
すいか	ネコフ゛センチュウ				た後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10																										
					日後に植付をする。																										
					(灌水チューブ法)																										
					予め灌水チューブを設置し、ビニール等で																										
いちご	萎黄病	-			被覆する。原液 30 L を水と共に 10																										
, ,,,	タベバ				a 当たり水量が 3000 L (100 倍希釈)																										
					になるように灌水注入して、7~10																										
ほうれんそ	萎凋病		は種 14 日		日間被覆した後ガス抜きを行い、ガ																										
う			前まで		ス抜き7~10日後に植付又はは種を																										
					する。																										

② 50.0%カーバム剤 (つづき)

③ 33.0%カーバムナトリウム塩液剤

				本剤		カーハ゛ムナトリウム
				\mathcal{O}		塩を含む農
作物名	適用	使用量	使用時期	使用	使用方法	薬の総使用
				回数		回数
	苗立枯病					
	(リゾ クトニア菌)				所定量の薬液を土壌表面に散	
					布し、直ちに混和し被覆する。	
みずな	F- 11 +1/-++				 所定量の薬液を土壌中約 15	
	一年生雑草				 cmの深さに注入し直ちに被覆	
					又は覆土・鎮圧する。	
	株腐病					
ほうれんそ	立枯病	原液として				
	ホウレンソウケナカ゛コナ	60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散	
	ダニ				布し、直ちに混和し被覆する。	
	一年生雑草					
う			は種又 は定植 の 10 日前	1 回	予め被覆した内で、所定量の	1回
	萎凋病				薬液を水で希釈し土壌表面に	
	一年生雑草				散布又は灌水する。	
		百法して	まで		所定量の薬液を土壌中約15	
	占组定	原液として 40 L/10 a			cmの深さに注入し直ちに被覆	
	白絹病 一年生雑草	40 L/10 a			又は覆土・鎮圧する。	
	十二种子				所定量の薬液を土壌表面に散	
					布し、直ちに混和し被覆する。	
ねぎ	根腐萎凋病				予め被覆した内で、所定量の	
わけぎ	一年生雑草				薬液を水で希釈し土壌表面に	
あさつき		原液として			散布又は灌水する。	_
	黒腐菌核病	60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約 15	
					cm の深さに注入し直ちに被覆	
					又は覆土・鎮圧する。	
					所定量の薬液を土壌表面に散	
					布し、直ちに混和し被覆する。	

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバ ムナトリウム 塩を含む農 薬の総使用 回数
きゅうり	苗立枯病 (リゾクトニア菌)つる割病 一年生雑草つる割病 ねブゼンチュウ 一年生雑草つてきれず 一年生雑草つる割病 つてきれず 一年生雑草つる割痛 一年生雑方 一年生報 一年生額 一年生額	原液として 60 L/10 a 原液として 40~60 L/10 a 原液として 40 L/10 a	は 種 又 は 種 の 15 で が ま で で で で で う で う で う で う で う で う で う で	1 回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。 所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
かぼちゃ	立枯病 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。	
メロン	ネコブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。	
メロン	黒点根腐病	原液として 80 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面に 散布又は灌水する。	

<u> </u>	J. 0/0/V	ノトソソム塩作	\/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	C /		1
				本剤		カーハ゛ムナトリウム
作物名	適用	使用量	使用時期	\mathcal{O}	 使用方法	塩を含む農
1 171/1/11	週用	次川里	区用时朔	使用		薬の総使用
				回数		回数
	苗立枯病					
	(リゾ クトニア菌)				所定量の薬液を土壌表面に散	
	萎凋病				布し、直ちに混和し被覆する。	
ピーマン	一年生雑草	原液として				
とうがらし		60 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の	
類	萎凋病				薬液を水で希釈し土壌表面に	
					散布又は灌水する。	
	半身萎凋病				所定量の薬液を土壌中約 15	
	ネコフ゛センチュウ	原液として			cm の深さに注入し直ちに被覆	
	一年生雑草	40∼60 L/10 a	-		又は覆土・鎮圧する。	
かんしょ	つる割病	原液として			所定量の薬液を土壌表面に散	
		60 L/10 a			布し、直ちに混和し被覆する。	
			は種又は		所定量の薬液を土壌中約 15	
	1.7、床床		定植の 15	1回	cm の深さに注入し直ちに被覆	1回
17) 10)	しみ腐病		日前まで	I	又は覆土・鎮圧する。	1 [2]
にんじん	ねずセンチュウ		1.1130.1		所定量の薬液を土壌	
	一年生雑草				表面に散布し、直ちに混和し	
					被覆する。	
					予め被覆した内で、所定量の	
	萎凋病	原液として			薬液を水で希釈し土壌表面に	
	一年生雑草	40∼60 L/10 a			散布又は灌水する。	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	幸冲宁				所定量の薬液を土壌	
ミニトマト	萎凋病				表面に散布し、直ちに混和し、神悪士ス	
	半身萎凋病				被覆する。	
	ねずむります				所定量の薬液を土壌中約15	
	一年生雑草				cm の深さに注入し直ちに被覆	
					又は覆土・鎮圧する。	

(3) 33). U/0// / \A	ナトリワム塩液	文月』(ノ ~	701		
作物名	適用	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバムナトリウム 塩を含む農 薬の総使用 回数
なす	半身萎凋病 キュブ・センチュウ 一年生雑草 苗立枯病 (リゾ・クトニア菌) 半身萎凋病 一年生雑草	原液として 40~60 L/10 a 原液として 40 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	-
	半枯病	60 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面に 散布又は灌水する。	
こんにゃく	根腐病 れブゼンチュウ 一年生雑草 乾腐病 乾性乾腐病 一年生雑草 根腐病	原液として 40~60 L/10 a 原液として 40 L/10 a 原液として 60 L/10 a	は種又は 定植の 15 日前まで	1 回	所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回
ごぼう	ネグ・サレセンチュウ 一年生雑草	40~60 L/10 a 原液として 40 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。	
さといも	乾腐病	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。	
だいこん	ハーティシリウム黒 点病ネケーサレセンチュウ 一年生雑草ハーティシリウム黒 点病一年生雑草	原液として 40~60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。	

16-44- F7				→ > 11		1. 8 , 1 , 1 , 1 ,
作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用	使用方法	カーバ ムナトリウム 塩を含む農 薬の総使用
				回数		回数
いちご	萎黄病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a	は種又は定 植の 15 日前 まで		所定量の薬液を土壌表面に 散布し、直ちに混和し被覆す る。 予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面	
	萎黄病 ネグサレセンチュウ 一年生雑草			1 回	に散布又は灌水する。 所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被 覆又は覆土・鎮圧する。	
みょうが (花穂) みょうが (茎葉) しょうが	根茎腐敗病一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に 散布し、直ちに混和し被覆する。 予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面 に散布又は灌水する。 所定量の薬液を土壌表面に 散布し、直ちに混和し被覆する。	
	ネコブセンチュウ 一年生雑草				所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被	
かぶ	萎黄病 一年生雑草	原液として 40 L/10 a			覆又は覆土・鎮圧する。	
さやえんど う 実えんどう	萎凋病 苗立枯病 (リゾクトニア菌) 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面 に散布又は灌水する。 所定量の薬液を土壌表面に 散布し、直ちに混和し被覆す る。	

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバ ムムナトリウム塩を含む 農薬の総使 用回数
キャヘ゛ツ	が ーティシリウム 萎凋病 根こぶ病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a	は種又は 定植の 15 日前まで		所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。 所定量の薬液を土壌中約 15	
はくさい	根こぶ病 根くびれ病 黄化病 一年生雑草	原液として 40~60 L/10 a			cmの深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。	
たまねぎ	乾腐病 黒腐菌核病 一年生雑草 乾腐病	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。 予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面に 散布又は灌水する。	
	描立枯病 原液として (リゾ・クトニア菌) 80 mL/m² ネグサレセンチュウ 原液として は種	は種又は	1 回	所定量の薬液を積み上げた土 壌表面に散布し直ちに被覆する。	1 回	
レタス 非結球レタス	一年生雑草根腐病ビックへ・心病すそ枯病一年生雑草	40∼60 L/10 a	定植の 10 日前まで		所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。	
にら にら(花茎)	乾腐病 一年生雑草 乾腐病 葉腐病 一年生雑草 がずいセンチュウ 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面に 散布又は灌水する。 所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。 所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。	

	1		.,,, ,	<u> </u>	T	1
作物名	適用	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバムナトリ ウム塩を含 む農薬の 総使用回 数
フ゛ロッコリー	ねブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40~60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。	
やまのいも	ねブセンチュウ 根腐病	原液として 60 L/10 a 原液として 40 L/10 a	は種又は定 植の 15 日前	1 回	所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。 所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆	
ばれいしょ	一年生雑草 そうか病 一年生雑草		まで			
にんにく	乾腐病 (モケ゛サレセンチュウ 一年生雑草 (モケ゛サレセンチュウ				又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。 所定量の薬液を土壌中約 15	1回
チンケ゛ンサイ	キュブ・センチュウ萎黄病		は種又は定 植の 10 日前 まで		cmの深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。	
にら にら(花茎)	前作のにら又 はにら(花茎) の古株枯死 前作のにら又 はにら(花茎) の古株枯死、 対"=蔓延防止	原液として 60 L/10 a	前作のにら、 にら(花茎) の栽培終了 後からは種 又は定植の 10日前まで		所定量の薬液を土壌中約 15 cmの深さに注入し直ちに被覆 又は覆土・鎮圧する。 所定量の薬液を土壌表面に散 布し、直ちに混和し被覆する。 所定量の薬液を水で希釈し土 壌表面に散布又は灌水する。	

33.0	%カーハムナト!		, ()) ()	1	T	T
作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の用図数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
トマレーと メル は は さく あ チみ レ おいい とうきいか うはぎ、あかりみ レ 結いい かっかい ずりない かっかい がっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっか	前作のいちごの 対でサレセンチュウ蔓延 防止 前作のトマト、としりの うりのではないます。 力・蔓延なすがいますがの ・でのではないですがいますが、はいますが、はいますが、はいますが、ままが、はいますが、ままが、はいますが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まず	原液として 60 L/10 a	前終残では植作了渣た種のまではおいました。	1回	所定量の薬液を水で 希釈し土壌表面に散 布又は灌水する。	1 回
キャヘッツ ブロッコリー にんじん たまねぎ さやえんどう 実えんどう ス・ッキーニ	前作のトマト又はミニトマトのコナジ・デス類 蔓延防止 前作の野菜類、 ピーマン、とうがら し類又はきゅう りの古株枯死、 アサドミウマ類蔓延防 止	原液として 40~60 L/10 a			所定量の薬液を土壌 表面に散布し、直ちに 混和し被覆する。	

<u> </u>	100,0	ノー温IKA		•		
作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバムナトリ ウム塩を含 む農薬の 総使用回 数
ほうれんそう	前作のほうれん そうのホウレンソウケナ ガコナダニ蔓延防 止	原液として 40~60 L/10 a	前作の栽培 終了後から は種の7日 前まで		所定量の薬液を土壌 表面に散布する。 所定量の薬液を土壌 表面に散布し混和す る。	
ねぎ	前作のねぎの寄生収穫残渣のクロ	原液として	前作の栽培 終了後から 撤去まで ただし、は 種又は定植 の10日前 まで	1 回	集積した残渣物に所	1 回
にんじん	バネキノコバエ類蔓 延防止	40 mL/m²	前作の栽培 終了後から 撤去まで ただし、は 種又は定植 の 15 日前 まで		定量の薬液を散布し被覆する。	

④ 20.0%メチルイソチオシアネート油剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	メチルインチオシアネート を含む農薬の 総使用回数
ほうれん そう	苗立枯病 (ピシウム菌)	40 L/10 a (1 穴当たり 4 mL)	は種の 30 日前 まで			
トマト	萎凋病 センチュウ類					
なす	半身萎凋病 半枯病 センチュウ類				圃場を耕起・ 整地した後、 30 cm間隔のチ	
きゅうり すいか	つる割病 センチュウ類		は種又は植 付けの		ト゛リに深さ約 12~15 cmの	
お結球レタス	根腐病 センチュウ類		15000 21 日前 まで	1 回	穴をあけ、所 定量を注入	
たまねぎ	乾腐病 センチュウ類	30~40 L/10 a (1 穴当たり			し、直ちに覆 土しポリエチレン、	1 回
いちご	菱黄病 センチュウ類	3∼4 mL)			ビニール等で被 覆する。	
やまのいも	褐色腐敗病 センチュウ類				薬剤処理 7~ 10 日後にガス	
ふき	半身萎凋病 センチュウ類				抜き作業を行う。	
ねぎ	白絹病		植付けの30			
あさつき	萎凋病		日前まで			
わけぎ	センチュウ類					
メロン	つる割病 センチュウ類					

④ 20.0%メチルイソチオシアネート油剤(つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	メチルイソチオシアネート を含む農薬の 総使用回数
にんじん	センチュウ類	30~40 L/10 a (1 穴当たり 3~4	植付けの28 日前まで		圃場を耕起・ 整地した後、	
	萎黄病	mL)			30 cm間隔のチ	
だいこん	センチュウ類	20~40 L/10 a (1 穴当たり 2~4			トリに深さ約 12~15 cmの	
		mL)	は種又は植	1 回	穴をあけ、所 定量を注入	1 回
			付けの 21		し、直ちに覆	
こんにゃく	根腐病	30∼40 L/10 a	日前まで		土・鎮圧する。	
らっきょう	センチュウ類	(1 穴当たり 3~4			薬剤処理7~	
99ca/	LV / ユソ 大只	mL)			10日後にガス	
					抜き作業を行	
					う。	

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ゲルイソチオシアネート を含む農薬の 総使用回数
	センチュウ類	20~30 L/10 a				
しょうが	根茎腐敗病 立枯病 一年生雑草	30~40 L/10 a	は種又は植付 の 21 日前まで		圃場を耕起・整地 した後、所定量を	
	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種の		深さ約12~15 cm	
ごぼう	萎凋病 一年生雑草	30∼40 L/10 a	21 日前 まで	1回	に注入し、直ちに 覆土・鎮圧する。	1 回
	センチュウ類	20∼30 L/10 a			薬剤処理7~14	
ねぎ わけぎ あさつき	萎凋病 白絹病 黒腐菌核病 一年生雑草	30∼40 L/10 a	は種又は植付 の 14 日前まで		日後にガス抜き作業を行う。	
	根腐萎凋病	40 L/10 a				

				本剤の		メチルイソチオシアネート			
作物名	適用	使用量	使用時期	使用	使用方法	を含む農薬の			
				回数		総使用回数			
たまねぎ	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は植付 の 14 日前ま で						
	乾腐病 一年生雑草	30~40 L/10 a							
	黒腐菌核病	30 L/10 a							
	センチュウ類	20~30 L/10 a	植付の						
ふき	半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a	30 日前 まで		圃場を耕起・整地				
	センチュウ類	20∼30 L/10 a			した後、所定量を 深さ約 12~15 cm				
	半身萎凋病	30 L/10 a	は種又は植付 の21日前まで は種又は植付 の21日前まで						
 	苗立枯病	40 L/10 a		は種又は植付	は種又は植付	に注入し、直ちに 覆土・鎮圧する。			
公內	表別病 根腐萎凋病 一年生雑草	30∼40 L/10 a		1回	薬剤処理 7~14 日 後にガス抜き作業 を行う。	1 回			
	センチュウ類	20~30 L/10 a						 -	
	根こぶ病 バーティシリウム 黒点病	30 L/10 a							
	萎黄病 一年生雑草	30∼40 L/10 a							
だいこん	センチュウ類	20~30 L/10 a			圃場を耕起・整地				
724-270	根こぶ病 バーティシリウム 黒点病	30 L/10 a	は種又は植付 の 14 日前まで (砂質土)		した後、所定量を 深さ約12~15 cm に注入し、直ちに 覆土・鎮圧する。				
	萎黄病 一年生雑草	30∼40 L/10 a			薬剤処理7日後に かれなき作業を行う。				

0 = 11			10.0/01, 5			1			
作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	メチルイソチオシアネート を含む農薬の 総使用回数			
すいか	センチュウ類 つる割病 一年生雑草	20~30 L/10 a 30~40 L/10 a	は種又は植付 の 21 日前まで				た後、	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ 約12~15 cmに注	
メロン	センチュウ類 つる割病 一年生雑草	20~30 L/10 a	は種又は植付 の 30 日前まで			入し、直ちに覆土・ 鎮圧する。 薬剤処理 7~14 日 後にガス抜き作業 を行う。			
	センチュウ類 バーティシリウム 萎凋病 萎凋病	20~30 L/10 a 30 L/10 a 30~40 L/10 a			圃場を耕起・整地 した後、所定量を 深さ約12~15 cm に注入し、直ちに				
ほうれんそ う	一年生雑草 苗立枯病 (ピシウム菌)	40 L/10 a	は種の 30 日前 まで は種の 21 日前 まで	30 日前	1 回	覆土し、ポリエチレン、 ビニール等で被覆す る。	1 回		
かぶ	センチュウ類 根こぶ病 バーティシリウム 黒点病	20~30 L/10 a			圃場を耕起・整地 した後、所定量を 深さ約12~15 cm				
らっきょう	萎黄病 一年生雑草 センチュウ類 黒腐菌核病 根腐病	30~40 L/10 a 20~30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで		に注入し、直ちに 覆土・鎮圧する。 薬剤処理7~14日 後にガス抜き作業 を行う。				
	乾腐病 一年生雑草	30∼40 L/10 a	の 21 日前まで						

				本剤の		メチルイソチオシアネート
作物名	適用	使用量	使用時期	使用	使用方法	を含む農薬の
				回数		総使用回数
	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は植付 の30日前まで	1 回	画場を耕起・整地 した後、12~15 cm に注入し、直ちに 選土・理7~14日 後にがみまする。	
にんにく	乾腐病 紅色根腐病 黒腐菌核病 一年生雑草	30 L/10 a				
	センチュウ類	20~30 L/10 a				
キャヘ゛ツ	n´-ティシリウム 萎凋病	40 L/10 a	は種又は植付 の 21 日前まで			1 回
	萎黄病 根こぶ病 菌核病 一年生雑草	30∼40 L/10 a				
	センチュウ類	20~30 L/10 a				
ルノキい	黄化病	30 L/10 a				
はくさい	萎黄病 根こぶ病 一年生雑草	30~40 L/10 a				
	センチュウ類	20∼30 L/10 a				
レタス	n゙ーティシリウム 萎凋病	30 L/10 a				
非結球レタス	根腐病	30∼40 L/10 a				
	センチュウ類	20~30 L/10 a				
	疫病 萎凋病	30 L/10 a				
	萎黄病 炭疽病 一年生雑草	30∼40 L/10 a				

			1	l		
N=Hm 5	· 本 田	(古田县)	油田味	本剤の	法 田士洪	メチルイソチオシアネート
作物名	適用	使用量	使用時期	使用 回数	使用方法	を含む農薬の総使用回数
	センチュウ類	20~30 L/10 a		— »×		45 DC/ 13 EL 29A
きゅうり	つる割病	30∼40 L/10 a				
	一年生雑草					
	センチュウ類	20∼30 L/10 a				
にんじん	萎凋病					
(2/00/0	しみ腐病	30∼40 L/10 a			圃場を耕起・整地	
	黒しみ病	30 ° 40 L/10 a				
	一年生雑草					
	センチュウ類	20~30 L/10 a			した後、所定量を 深さ約12~15 cm	
なす	萎凋病 半枯病 半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a	は種又は植付 の 21 日前ま で	1回	に注入し、直ちに 覆土・鎮圧する。 薬剤処理7~14日 後にガス抜き作業	1 回
	センチュウ類	20~30 L/10 a			を行う。	
こんにゃく	乾腐病 根腐病 白絹病 一年生雑草	30∼40 L/10 a				
	センチュウ類	20∼30 L/10 a				
やまのいも	褐色腐敗病 一年生雑草	30~40 L/10 a				

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

- ① 分析対象物質
 - ・ダゾメット
 - ・メタムアンモニウム
 - ・メタムナトリウム
 - ・メチルイソチオシアネート(以下、MITCという)

② 分析法の概要

i) ダゾメット、メタムアンモニウム、メタムナトリウム及びMITC

試料に水及び酢酸エチル又は *m*ーヘキサンを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、MITC 並びにダゾメット、メタムアンモニウム及びメタムナトリウムから生成した MITC を蒸留する。留出液から *m*ーヘキサン又は酢酸エチルを分取し、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ(GC-NPD)で定量する。

または、試料に水及び酢酸エチル又はリン酸緩衝液(pH8.0)、塩化ナトリウム及び酢酸エチルを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、MITC 並びにダブメット、メタムアンモニウム及びメタムナトリウムから生成した MITC を蒸留する。水層及び酢酸エチル層を分取して塩析し、必要に応じて SCX カラムを用いて精製した後、GC-NPD 又はガスクロマトグラフ・質量分析計(GC-MS)で定量する。

定量限界: 0.002~0.02 mg/kg

ii)MITC

試料に水及びn~~キサン又は酢酸エチルを加えて加熱還流し、留出液からn~~キサン又は酢酸エチルを分取し、炎光光度型検出器(硫黄用干渉フィルター)付きガスクロマトグラフ(GC-FPD(S))又はGC-NPDで定量する。

定量限界: 0.003~0.05 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、1-2、1,3 及び 1-4 を参照。

4. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号)第24条第1項第1号の規定に基づき、食品 安全委員会あて意見を求めたダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートに係る 食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

ダゾメット

無毒性量: 0.4 mg/kg 体重/day

(動物種) 雌イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 1年間

安全係数:100

ADI: 0.004 mg/kg 体重/day

② メタムアンモニウム

無毒性量: 0.5 mg/kg 体重/day

(ADI 設定根拠資料①) 慢性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) カプセル経口

(期間) 1年間

(ADI 設定根拠資料②) 繁殖毒性試験

(動物種) 雄ラット

(投与方法) 強制経口

(期間) 2世代

安全係数:100

ADI: 0.005 mg/kg 体重/day

③ メタムナトリウム及びメタムカリウム

無毒性量: 0.75 mg/kg 体重/day

(動物種) 雄イヌ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 1年間

安全係数:100

ADI: 0.0075 mg/kg 体重/day

食品安全委員会は、メタムカリウムはメタムナトリウムと毒性が同等と考えられたことから、ADIの設定に当たってはメタムナトリウムの各種試験結果を基に評価を行った。

④ メチルイソチオシアネート

無毒性量: 0.4 mg/kg 体重/day

(ADI 設定根拠資料①) 亜急性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(期間) 90 日間

(ADI 設定根拠資料②) 慢性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(期間) 1年間

安全係数:100

ADI: 0.004 mg/kg 体重/day

(2) ARfD

① ダゾメット

無毒性量: 2.8 mg/kg 体重

(動物種) 雄イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 亜急性毒性試験

安全係数:100

ARfD: 0.028 mg/kg 体重

② メタムアンモニウム

無毒性量:3 mg/kg 体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 慢性毒性試験

安全係数:100

ARfD: 0.03 mg/kg 体重

③ メタムナトリウム及びメタムカリウム

無毒性量: 2.16 mg/kg 体重/day

(ARfD 設定根拠資料①) 発生毒性試験

(動物種) ラット

(投与方法) 強制経口

(ARfD 設定根拠資料②) 発生毒性試験

(動物種) ウサギ

(投与方法) 強制経口

安全係数:100

ARfD: 0.021 mg/kg 体重

食品安全委員会は、メタムカリウムはメタムナトリウムと毒性が同等と考えられたことから、ARfDの設定に当たってはメタムナトリウムの各種試験結果を基に評価を行った。

④ メチルイソチオシアネート

無毒性量:10 mg/kg 体重

(動物種) 雄マウス及び雄ウサギ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 一般薬理試験

安全係数:100

ARfD: 0.1 mg/kg 体重

(3) グループ ADI 及びグループ ARfD の設定

食品安全委員会は、総合的な評価において、ダゾメット及びメタムは農薬として散布された後、土壌中でメチルイソチオシアネートに分解され活性成分となること、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして残留すると考えられることから、メチルイソチオシアネートを総合的な評価対象物質としており、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートのグループ ADI 及びグループ ARfD は、メチルイソチオシアネートの ADI 及び ARfD を用いて、それぞれ 0.004 mg/kg 体重/day 及び 0.1 mg/kg 体重と設定した。

5. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。 米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、EU において果 菜類、葉菜類等に基準値が設定されている。

6. 基準値案

(1) 残留の規制対象

メチルイソチオシアネートとする。

ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、 植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられていることから、 残留の規制対象をメチルイソチオシアネートとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価対象

メチルイソチオシアネートとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートにおける農産物中の暴露評価対象物質をメチルイソチオシアネートとしている。

(4) 暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI/ADI(%) 注)
国民全体(1 歳以上)	20. 9
幼小児(1~6 歳)	40. 4
妊婦	20. 3
高齢者(65 歳以上)	23. 9

注) 各食品の平均摂取量は、平成 17~19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算法:基準値案×各食品の平均摂取量

<参考>

	EDI/ADI (%) 注)
国民全体(1歳以上)	3. 6
幼小児(1~6歳)	6. 6
妊婦	3. 4
高齢者(65歳以上)	4. 2

注) 各食品の平均摂取量は、平成 17~19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算法:作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を算出したところ、国民全体(1歳以上)及び幼小児(1~6歳)における摂取量は急性参照用量(ARfD)を超えていない^{注)}。詳細な暴露評

価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17~19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

ダゾメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験		親結	-	1		残留濃度(mg/kg) ^{注2)注3)}
JE I PIO	圃場数	剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
					植付25日前	137	圃場A:0.021
					植付18日前	102	圃場B:0.043
	6	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 十壤混和処理	1	植付36日前	137	圃場C:0.010 圃場D:0.007
197			工程和作之生		植付16日前植付23日前	108 129	圃場D:0.007 圃場E:0.023
ばれいしょ (塊茎)					植付20日前	134	圃場F:0.047
					植付36日前	137	圃場A:0.009
			20 kg/10 a		植付16日前	108	圃場B:0.003
	4	98.0%粉粒剤	土壌混和処理	1	植付23日前	129	圃場C:0.015
					植付20日前	134	圃場D:0.046
さといも		00 00/40/44-20	30 kg/10 a		植付18日前	224	圃場A:<0.002
(塊茎)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	植付20日前	221	圃場B:<0.002
かんしょ	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	植付20日前	140	圃場A:<0.002
(塊茎)	2	90.0%/月和	土壤混和処理	1	植付 <u>21</u> 日前	128	圃場B:<0.002
					植付22日前	184	圃場A:0.010
			20 kg/10 a		植付19日前	162	圃場B:0.022
	5	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和処理	1	植付28日前	243	圃場C:<0.005
					植付20日前	227	圃場D:<0.005
やまのいも (抽要)				1	植付24日前	187	圃場E:0.014
(塊茎)					植付22日前	184	圃場A:0.008
	_	00 00/4/14/1-44/1	30 kg/10 a	,	植付19日前	162	圃場B: 0. 023
	5	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	植付28日前	243	圃場C:<0.005
					植付20日前	227	圃場D:0.005
					植付24日前植付27日前	187 183	圃場E:0.018 圃場A:<0.005
こんにゃくいも (球茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 十壤混和処理	1	植付20日前	171	圃場B:<0.005
					は種210日前+植付226日前	369	圃場A:<0.005 (#) ^{注4)}
てんさい (根部)	2	98.0%粉粒剤	400 g/m²(苗床)+30 kg/10 a 土壌混和処理	2	は種203日前+植付250日前	401	圃場B:<0.005 (#)
			20 kg/10 a		は種20日前	68	圃場A:<0,005
だいこん	2	98.0%粉粒剤	土壌混和処理	1	は種21日前	90	圃場B:<0.005
(根部)			30 kg/10 a		は種20日前	78	圃場A:<0.002
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	は種17日前	73	圃場B:0.005
		o o occiletà della della	20 kg/10 a		は種20日前	68	圃場A:0.005
だいこん	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	は種 <u>21</u> 日前	90	圃場B:<0.005
(葉部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	は種20日前	78	圃場A:<0.002
	2	90.0%初和利	土壤混和処理	1	は種17日前	73	圃場B:0.005
だいこん	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	は種20日前	27	圃場A:0.021
(つまみ菜)		50. 0/4/J/12/A1	土壌混和処理	-	は種17日前	35	圃場B:0.599
だいこん	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	は種20日前	34	圃場A:0.005
(間引き菜)		. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	土壤混和処理	ļ <u> </u>	は種17日前	42	圃場B:0.277
はつかだいこん (根部)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和処理	<u>1</u>	は種 <u>35</u> 日前	63, 68, 73	圃場A:<0.005 (1回,63日)
						84, 89, 94	圃場B:0.005 (1回,84日)
はつかだいこん (葉部)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 十壤混和処理	1	は種 <u>35</u> 日前	63, 68, 73	圃場A:<0.005(1回,63日)
(米叩)					24種00日光	84, 89, 94	圃場B:<0.005(1回,84日) 圃場A:<0.005
.2. **	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種20日前 は種22日前	52 92	圃場B:<0.005
かぶ (葉部)				+	は種20日前	52	圃場A:<0.005
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種22日前	92	圃場B:<0.005
			20 kg/10 a		は種20日前	52	圃場A:<0.005
かぶ	2	98.0%粉粒剤	土壌混和処理	1	は種22日前	92	圃場B:<0.005
(根部)		00 00/40/41-40/	30 kg/10 a	<u> </u>	は種20日前	52	圃場A:<0.005
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	は種22日前	92	圃場B:<0.005
					は種30日前	100	圃場A:<0.006
はくさい	4	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	は種31日前	164	圃場B:<0.006
(茎葉)	4	30. U测忉松削	土壤混和処理	1	定植20日前	83	圃場C:<0.005
					定植20日前	74	圃場D:<0.005
キャベツ	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植20日前	92	圃場A:<0.005
(葉球)	-	00.0/M/14E/HI	土壌混和処理		定植22日前	115	圃場B:<0.005
こまつな			30 kg/10 a		は種10,20日前	33, 43	圃場A:0.004 (1回, は種20日前, 43日
<u>(</u> 茎葉)	3	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1		31, 41	圃場B:0.004 (1回, 31日)
					は種 <u>10</u> 日前	40, 47, 54	圃場C:0.01 (1回,40日)
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a ⊥ ₩30 €n #n #H	1	は種 <u>12</u> 日前	38	圃場A:<0.005
みずな (支養)			土壤混和処理	+-	1		圃場B:<0.005
(茎葉)	2	98.0%粉粒剤	50 kg/10 a ⊥+±x>≡ ≠n ≠n ≠n	1	は種12日前	38	圃場A:0.006 (#)
			土壌混和処理				圃場B:0.014 (#)

ダゾメットの作物残留試験一覧表(国内)

## /fark/ 試験 試験条件										
農作物	武 順場数	剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	残留濃度(mg/kg) ^{注2)注3)}			
みぶな	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	は種11,14日前	35, 38, 42	圃場A:<0.009(1回,35日)			
(茎葉)	2	90. 0/4/八和二月1	土壤混和処理	1	7み7里11,14口 刊	32, 35, 39	圃場B:<0.009(1回,32日)			
チンゲンサイ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 十嬢混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	48	圃場A: 0. 003 圃場B: <0. 002			
カリフラワー						47 79	圃場A:<0.002 圃場A:<0.002			
(花蕾)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壤混和処理	1	定植21日前	125	圃場B:<0.002			
ブロッコリー	0	00 00/W/W+++	30 kg/10 a	1		76	圃場A:<0.002			
(花蕾)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	113	圃場B:<0.002			
1 7 4	1	98.0%粉粒剤	15 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種18日前	50	圃場A:<0.01			
しろな (茎葉)			30 kg/10 a		は種18日前	50	圃場A:<0.01			
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	<u>1</u>	は種20日前	44	圃場B:<0.004			
ひろしまな			30 kg/10 a		定植11日前	56, 66	圃場A:<0.004(1回,56日)			
(茎葉)	3	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植21日前	66, 76	圃場B:<0.004(1回,66日)			
hard or de			20.1 (40		定植11,21日前	83, 93 85	圃場C:0.007(1回,83日) 圃場A:0.032			
つぼみな (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壤混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	83	画場B:<0.008			
ごぼう		0.0 00/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/2	30 kg/10 a		11 ffor H 36	185	圃場A:<0.004			
(根部)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	は種21日前	182	圃場B:<0.004			
しゅんぎく	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a	1	は種12日前	57	圃場A:<0.004			
(茎葉)			土壌混和処理	-		72	圃場B:0.013			
1 . h ==			90.1 /10		は種21日前	53 59	圃場A:<0.004 圃場B:0.004			
レタス (茎葉)	4	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壤混和処理	<u>1</u>		54, 61, 68	圃場C:<0.02(1回,54日)			
					は種14日前	58, 65, 72	圃場D:<0.02 (1回,58日)			
葉ごぼう	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	は種 <i>14</i> ,21,24日前	91, 98, 101	圃場A:<0.02(1回,91日)			
(茎葉及び根部)	2	90. 0/4/八和二月1	土壌混和処理	Ţ		91, 90, 101	圃場B:<0.02(1回,91日)			
やまごぼう (根部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種21日前	161, 168, 175	圃場A:<0.008(1回,161日)			
					は種24日前 定植22日前	353	圃場B:<0.008(1回,161日) 圃場A:<0.008			
ふき (可食部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壤混和処理	1	定植21日前	110	圃場B:<0.008			
食用ぎく		0.0 00/04/04/1-75/	30 kg/10 a		定植 <u>21</u> 日前	127	圃場A:<0.004			
(花全体)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	<u>1</u>	定植19日前	144	圃場B:<0.004			
	2	98.0%粉粒剤	400 g/m³(苗床)	1	は種17日前	270	圃場A:<0.005			
			土壤混和処理	_	は種15日前	273	圃場B:0.017			
	2	98.0%粉粒剤	20 g/m²(苗床) 土壤混和処理	1	は種 <u>14</u> 日前	255 239	圃場A:<0.002 圃場B:<0.002			
たまねぎ		and the first	30 kg/10 a		定植21日前	245	圃場A: 0. 014			
(鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植22日前	200	圃場B:0.014			
	2	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a	1	定植21日前	131, 138, 145	圃場A:0.02(1回,131日)			
		001 0/0/// 122/11	土壤混和処理	-			圃場B:<0.02(1回,224日)			
	2	98.0%粉粒剤	400 g/m³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和処理	2	は種17日前+定植35日前 は種15日前+定植34日前	236	圃場A: 0. 048(#) 圃場B: 0. 021(#)			
葉たまねぎ			20 kg/10 a		は種13日削*だ値34日削 は種14日前	184 179	圃場A:<0.02			
(葉及び鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	は種15日前	171	圃場B:<0.02			
	2	98.0%粉粒剤	30 g/m² (苗床)+20 kg/10 a	2	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.002 (#)			
	4	JO. U/M/J/和上月リ	土壤混和処理	4	は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.005 (#)			
	2	98.0%粉粒剤	30 g/m²(苗床)+30 kg/10 a 土壤混和処理	2	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.003 (#)			
					は種22日前+は種20日前 は種14日前	164 335	圃場B:0.005 (#) 圃場A:<0.002			
ねぎ	2	98.0%粉粒剤	30 g/m²(苗床) 土壌混和処理	1	は種14日削 は種22日前	245	圃場B:0.003			
(茎葉)	0	00 00/4//4/4-4-1	30 kg/10 a	,		115	圃場C:0.003			
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植20日前	164	圃場D:0.005			
					定植21日前		圃場A:<0.02(1回,141日)			
	4	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和処理	1		84, 91, 98	圃場B:<0.02(1回,84日)			
			T-WINDLEY-CAT		定植 <u>14</u> 日前	172, 179, 186 55, 62, 69	圃場C:<0.02(1回,172日) 圃場D:<0.02(1回,55日)			
	_	OO COMMUNICATION	30 kg/10 a		۷۰ د مطبخ	136	圃場A:<0.002			
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	<u>1</u>	定植20日前	97	圃場B:0.009			
	2	98.0%粉粒剤	30 g/m²(苗床)	1	は種18日前	245	圃場A:<0.002			
葉ねぎ (茎葉)			土壌混和処理	_	は種16日前	252	圃場B:<0.002			
(全朱/	2	98.0%粉粒剤	30 g/m²(苗床)+20 kg/10 a 土壌混和処理	2	は種18日前+定植20日前 は種16日前+定植20日前	136 97	圃場A:<0.002 (#) 圃場B:0.010 (#)			
			工機能和起達 30 g/m² (苗床)+30 kg/10 a		は種10日前+足植20日前 は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)			
	2	98.0%粉粒剤	30 g/m²(亩床)+30 kg/10 a 土壌混和処理	2	は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.014 (#)			
	•									

ダゾメットの作物残留試験一覧表(国内)

th //thm	試験		試験	条件			カト 5万.20m rfz / /1 / 注2)注3)
農作物	圃場数	剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	残留濃度(mg/kg) ^{注2)注3)}
にんにく	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	植付27日前	289	圃場A:0.021
(鱗片)			土壤混和処理	_	植付22日前	295	圃場B:<0.004
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 十壤混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	213	圃場A:<0.008 圃場B:<0.008
にら			TAKIMIN CAT				圃場A:<0.01 (1回, 104日)
(茎葉)	3	96.5%粉粒剤	60 kg/10 a	1	定植21日前	124, 131, 138	圃場B:<0.01(1回, 104日)
	· ·	30. 5/4/J/14E/HI	土壌混和処理	_	ACIE <u>ST</u> H IN	174, 181, 188	圃場C:<0.01 (1回, 174日)
		and the same	20 kg/10 a			47, 48, 54	圃場A:0.02 (1回,47日)
わけぎ	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植14,21,28日前	47, 54	圃場B:0.02 (1回, 47日)
(葉及び鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植14,21,28日前	47, 48, 54	圃場A:0.02(1回,48日)
	2	30. 0/4/3/4±/A1	土壌混和処理	1		47, 54	圃場B:<0.01(1回,47日)
らっきょう (鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	植付20日前	292	圃場A:0.016
(牌全)			工機优性程		植付31日前 は種20日前	314	圃場B:0.013 圃場A:<0.005
	3	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a	<u>1</u>	は種20日前 は種21日前	154 126	圃場B:<0.005
	3	90. U/M/J/AT/A1	土壤混和処理	1	Va 1型21 ロ Fil	124	圃場C:<0.005
にんじん					は種20日前	154	圃場A:<0.005
(根部)					は種21日前	126	圃場B:<0.005
	5	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種26日前	124	圃場C:<0.005
			TAKIMIN CAT		は種26日前	92	圃場D:<0.005
					は種 <u>21</u> 日前	83	圃場E:<0.005
パセリ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壤混和処理	1	定植20日前	80, 94	圃場A:0.005(1回,80日)
						80, 95	圃場B:0.007(1回,80日)
セルリー (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	91	圃場A: 0. 002 圃場B: 0. 002
みつば						80	圃場A:<0.02
(茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壤混和処理	1	は種 <u>21</u> 日前	130	圃場B:<0.02
あしたば		0.0 000/80 461-701	30 kg/10 a		114540 04 1124	248, 259	圃場A:<0.04 (1回, 248日)
(茎葉)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	は種 <u>10</u> , 21日前	223, 237	圃場B:<0.04 (1回, 223日)
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	<u>1</u>	定植20日前	83	圃場A:<0.005
トマト		00.0/0/3/122/13	土壤混和処理	-	定植22日前	92	圃場B:<0.005
(果実)	2	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植22日前	71, 78, 85	圃場A:<0.02(1回,71日)
					定植 <u>21</u> 日前	77, 84, 91 98, 105, 112	圃場B:0.111(1回,91日) 圃場A:<0.02(1回,98日)
ミニトマト (果実)	2	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	80, 87, 94	圃場B:<0.02(1回, 80日)
ピーマン			30 kg/10 a			72, 78, 93	圃場A:<0.02 (1回,72日)
(果実)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植 <u>21</u> 、27、42日前	87, 94, 108	圃場B:<0.02 (1回,87日)
なす	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植20日前	66	圃場A:<0.005
(果実)	2	90. 0/4/0/和亚月1	土壌混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	51	圃場B:<0.005
甘長とうがらし	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a ⊥. ₩30 €n #n #H	1	定植23日前	106	圃場A:0.003
(果実)			土壤混和処理		定植 <u>21</u> 日前	73	圃場B:<0.003
ししとう (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	84 76	圃場A:<0.004 圃場B:<0.004
			20 kg/10 a		定植 <u>21</u> 日前	67	圃場A:<0.005
1	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植20日前	55	圃場B:0.028
1					定植 <u>21</u> 日前	67	圃場A:<0.005
1					定植20日前	55	圃場B:0.036
					定植20日前	54	圃場C:0.002
1					定植20日前	58	圃場D:0.003
1	10	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植23日前	75	圃場E:0.025
1			工家區用公生		定植20日前 定植16日前	47 45	圃場F:0.014 圃場G:0.036
					定植29日前	64	圃場H: 0. 033
きゅうり					定植 <u>21</u> 日前	55	圃場Ⅰ:0.005
(果実)					定植11日前	49	圃場J:<0.002 (#)
					は種16日前	106	圃場A:<0.005
					は種18日前	79	圃場B:<0.005
					は種21日前	90	圃場C:<0.002
			ā		は種11日前	70	圃場D:0.003 (#)
	10	98.0%粉粒剤	400 g/m³(苗床) 土壌混和処理	1	<u>は種2日前</u> は種 <u>21</u> 日前	83 73	圃場E:0.006 (#) 圃場F:0.003
			T-WINDLEY-CAT		は性21日前 は種11日前	66	圃場G:<0.003
					 は種7日前	68	圃場H:<0.002 (#)
					は種14日前	71	圃場I:0.016 (#)
					は種1日前	74	圃場J:0.005 (#)

ダゾメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験		試験彡	条件			残留濃度(mg/kg) ^{注2)注3)}
展作物	圃場数	剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
					は種21日前+定植20日前	54	圃場A:<0.002 (#)
					は種11日前+定植20日前	58	圃場B:0.003 (#)
					は種2日前+定植23日前	75	圃場C:0.016 (#)
	8	98.0%粉粒剤	400 g/m³ (苗床)+20 kg/10 a	2	は種21日前+定植20日前	47	圃場D:0.030 (#)
			土壤混和処理		は種11日前+定植21日前	55	圃場E:0.004 (#)
					は種7日前+定植11日前	49	圃場F:<0.002 (#)
					は種14日前+定植16日前	45	圃場G:0.026 (#)
					は種1日前+定植29日前	64	圃場H:0.028 (#)
きゅうり					は種16日前+定植21日前	67	圃場A:<0.005 (#)
(果実)					は種18日前+定植20日前	55	圃場B:0.054 (#)
					は種21日前+定植20日前	54	圃場C:0.003 (#)
					は種11日前+定植20日前	58	圃場D:0.005 (#)
	10	98.0%粉粒剤	400 g/m³ (苗床)+30 kg/10 a	2	は種2日前+定植23日前	75	圃場E:0.020 (#)
			土壤混和処理		は種21日前+定植20日前	47	圃場F:0.029 (#)
					は種11日前+定植21日前	55	圃場G:0.002 (#)
					は種7日前+定植11日前	49	圃場H:<0.002 (#)
					は種14日前+定植16日前	45	圃場I:0.032 (#)
					は種1日前+定植29日前	64	圃場J:0.030 (#)
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植23日前	139	圃場A:0.018
		120 town 10	土壤混和処理	<u> </u>	定植20日前	89	圃場B:0.022
かぼちゃ	2	98.0%粉粒剤	400 g/m³(苗床)	1	は種16日前	139	圃場A:<0.002 (#)
(果実)		- 0. 0,0 ₁ /J/12/J/1	土壌混和処理		は種14日前	112	圃場B:0.002 (#)
	2	98.0%粉粒剤	400 g/m³(苗床)+30 kg/10 a	2	は種16日前+定植23日前	139	圃場A:0.010 (#)
		50. 0/4/J/122/H1	土壌混和処理		は種14日前+定植20日前	89	圃場B:0.007 (#)
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植20日前	90	圃場A:<0.005
	2	90. U/M/J/1412. Ali	土壤混和処理	<u>∓</u>	AE10E20 口 刊	81	圃場B:<0.005
すいか	2	98.0%粉粒剤	400 g/m³(苗床)	1	は種20日前	112	圃場A:<0.005
(果実)	2	90. 0/84/74年月1	土壤混和処理	1	は種14日前	132	圃場B:<0.005
	2	98.0%粉粒剤	400 g/m³(苗床)+30 kg/10 a	2	は種14日前+定植20日前	90	圃場A:<0.005 (#)
	2	90. 0/04/0/4年月1	土壤混和処理		は種20日前+定植20日前	81	圃場B:<0.005 (#)
	0	OO ONW\\\	40 kg/10 a	1	定植13日前	82	圃場A:0.002
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植16日前	90	圃場B:0.002
メロン		00 00/4// 4/4-4/1	400 g/m³(苗床)		は種9日前	93	圃場C:<0.002
(果実)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	<u>1</u>	は種14日前	103	圃場D:<0.002
		00 00/4// 4/4-4/1	400 g/m³ (苗床)+40 kg/10 a		は種9日前+定植13日前	82	圃場A:0.002 (#)
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	2	は種14日前+定植16日前	90	圃場B:0.002 (#)
にがうり		00 00/4// 4/4-4/1	30 kg/10 a		定植 <u>21</u> 日前	81	圃場A:<0.01
(果実)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	<u>1</u>	定植22日前	63	圃場B:0.02
		00 00/4// 4/4-4/1	20 kg/10 a		は種20日前	60	圃場A:0.005
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	<u>1</u>	は種22日前	53	圃場B:0.005
					は種20日前	60	圃場A:0.005
					は種22日前	53	圃場B:0.010
						52, 56	圃場C:0.023(1回, は種14日前, 56日
					は種 <u>10</u> , 14日前	45, 49	圃場D:0.023(1回,49日)
ほうれんそう (茎葉)						50, 55	圃場E:0.058 (1回,50日)
(至末)	11	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1		55	圃場F:0.025
			工豪风作之左			41	圃場G:<0.002
					11 day o 11 24	39	圃場H:0.028
					は種 <u>10</u> 日前	47	圃場I:0.005
						51	圃場J:0.012
						48	圃場K:0.008
		oo ordinata ta	20 kg/10 a		定植 <u>21</u> 日前	191	圃場A:<0.005
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植24日前	202	圃場B:<0.005
しょうが			30 kg/10 a		定植 <u>21</u> 日前	191	圃場A:<0.005
(根茎)	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植24日前	202	圃場B:<0.005
			60 kg/10 a			197, 204, 211	圃場A:<0.02(1回, 197日)
	2	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	224, 231, 238	圃場B:<0.02 (1回, 224日)
葉しょうが			30 kg/10 a		定植23日前	115, 120, 127	圃場A:<0.008(1回,115日)
果しょうが (根茎及び茎)	2	98.0%粉粒剤	10 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植21日前	97, 104, 111	圃場B:<0.008(1回,97日)
えんどう			30 kg/10 a		は種28日前	200	圃場A:<0.002
えんとう (未成熟子実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	<u>1</u>	は種20日前	112	圃場B: 0. 003
			***	<u> </u>	は種28日前	161	圃場A:0.006
さやえんどう (さや)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	<u>1</u>	は種20日前	96, 103	圃場B:0.018(1回,96日)
	-		***	<u> </u>	(み作品40日 川		圃場B:0.018 (1回,96日) 圃場A:<0.004
未成熟いんげん (さや)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	<u>1</u>	は種 <u>21</u> 日前	69	
(0.1)			工家政作化生			82	圃場B:<0.004

ダゾメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験		試験卶	€件			残留濃度(mg/kg) ^{注2)注3)}
展下物	圃場数	剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	残留張及 (mg/kg)
えだまめ	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植21日前	82	圃場A:<0.009
(きや)	2	90. 0 // // / / / / / / / / / / / / / / /	土壌混和処理	1	/E/118/21 (1 FI)	79	圃場B:<0.009
モロヘイヤ	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植30日前	92, 99	圃場A:<0.008(1回,92日)
(茎葉)	2	90. 0/64/0/4年月1	土壌混和処理	1	定植33日前	101, 108	圃場B:<0.008(1回,101日)
	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a	1	定植22日前	57	圃場A:<0.004
つるむらさき	2	90. 0 // // / / / / / / / / / / / / / / /	土壌混和処理	1	AE11世22 口 用1	51	圃場B:<0.004
(茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植22日前	57	圃場A:<0.004
	2	90. 0/64/0/4年月1	土壌混和処理	1	AE11世22 口 刊	91	圃場B:<0.004
さといも	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植21日前	125	圃場A:<0.009
(葉柄)	2	90. 0/4/0/4年月1	土壌混和処理	1	/C/IEZ1 [1 ft]	123	圃場B:<0.009
	1	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植 <u>21</u> 日前	68	圃場A:<0.005
	2	2 98.0%粉粒剤 30 kg/10 a (本圃) 1 定植20日前		定植20日前	164	圃場A:<0.005	
いちご	2	2 90.0//////// 月1	土壌混和処理	1	AE11E20 口 用1	124	圃場B:0.005
(果実)	2	2 98.0%粉粒剤	30 kg/10 a(仮苗床)	1	仮植17日前	215	圃場A:<0.005
	2	90. 0 // // / / / / / / / / / / / / / / /	土壌混和処理	1	汉和红17口刊	184	圃場B:<0.005
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a (仮苗床) +30 kg/10 a (本圃)	2	仮植17日前+定植20日前	164	圃場A:<0.005 (#)
	2	90. 0/64/0/4年月1	土壌混和処理	4	汉旭17日刊于足旭20日刊	124	圃場B:<0.005 (#)
チャービル	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a	1	は種 <u>42</u> 日前	112	圃場A:<0.01
(茎葉)	2	90. 0/64/0/4年月1	土壌混和処理	1	は種41日前	87	圃場B:<0.01
みょうが	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a	1	定植49日前	143	圃場A:<0.002
(可食部)	2	90. 0/4/0/4年月1	土壌混和処理	<u>1</u> 定植40日前		172	圃場B:0.002
					は種13,21,30日前	104, 110, 124	圃場A:0.006(1回,104日)
しそ	4	1文学学》0 80	30 kg/10 a	1	は種14,20,30日前	112	圃場B:0.005
(茎葉) 4	4	98.0%粉粒剤	土壤混和処理	1	定植14、21日前	42, 49	圃場C:<0.01(1回,42日)
					た11 <u>14</u> 、21日刊	69, 76	圃場D:0.09 (1回,69日)

- 注1) 98.0%粉粒剤は現在登録がないが、登録のある96.5%粉粒剤は分析法の違いによる見かけ上の数値の違いで、98.0%粉粒剤と同一の製剤である。
- 注2) MITC及びダゾメットの合計濃度 (MITCに換算した値) を示した。
- 注3) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

- 注4) (#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
- 注5) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

メタムアンモニウムの作物残留試験一覧表 (国内)

the the states	試験		i i	試験条件	Ė		21 CT Mark ((,) (#1)
農作物	圃場数	剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	· 残留濃度(mg/kg) ^{注1)}
たまねぎ	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	は種24日前処理	280	圃場A:<0.005
(りん茎)	4	50. 0%(1文字)	土壤潅注処理	1	は種28日前処理	259	圃場B:<0.005
こんにゃく	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	植付24日前処理	169	圃場A:<0.005
(球茎)	4	50. U/MX/AIJ	土壌潅注処理	1	植付26日前処理	171	圃場B:<0.005
きゅうり	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	植付17日前処理	56	圃場A:0.003
(果実)	4	50. U/MX/AIJ	土壤潅注処理	1	植付14日前処理	58	圃場B:0.003
すいか	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	植付14日前処理	91	圃場A:<0.003
(果実)	4	30. 0/研文月1	土壌潅注処理	1	植付22日前処理	107	圃場B:<0.003
キャベツ	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	植付14日前処理	69	圃場A:<0.003
(葉球)	2	50. UMIXAI	土壌潅注処理	1	他的14日前处土	77	圃場B:<0.003
はくさい	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	植付14日前処理	75	圃場A:<0.003
(茎葉)	2	50. UMIXAI	土壌潅注処理	1	但的近日的处土	97	圃場B:<0.003
根深ねぎ	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
(茎葉)	2	00. 0/0[X/H]	土壌潅注処理		は種 <u>14</u> 日前処理	253	圃場B:<0.003
葉ねぎ	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
(茎葉)	2	00. 0/0[XAI	土壌潅注処理	1	は種 <u>14</u> 日前処理	224	圃場B:<0.003
だいこん	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003(1回,は種14日前,74日)
(根部)	2	50. UMIXAII	土壌潅注処理	1	は進出日刊だ生	62	圃場B:<0.003
だいこん	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003(1回,は種14日前,74日)
(葉部)	2	00. 0/0[X/H]	土壌潅注処理		13年11月月八八五	62	圃場B:<0.003
だいこん(つまみ菜)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	は種14日前処理	24	圃場A:<0.003
(茎葉部)	2	00. 0/0[XAI	土壌潅注処理		(本)重11月前人之主	23	圃場B:<0.003
だいこん(間引き菜)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	は種14日前処理	35	圃場A:<0.003
(茎葉部)		00. 0/0[X/H]	土壌潅注処理	±	(3/里11 日 可入ご生	34	圃場B:<0.003
トマト	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a	1	作付37日前処理	115	圃場A:<0.003
(果実)	2	00. 0/0[X/H]	土壌混和処理		作付17日前処理	96	圃場B:<0.003
					は種15日前処理	60	圃場A:0.008
ほうれんそう	4	50.0%液剤	100倍希釈 3000 L/10 a	1		55	圃場B:0.007
(茎葉)	-	00. 0/0[XA]	潅水チューブ処理	±	は種 <u>14</u> 日前処理	54, 61, 68	圃場C:0.014(1回,は種14日前,54日)
						48, 55, 62	圃場D:0.014(1回,は種14日前,48日)
いちご	2	50.0%液剤	100倍希釈 4000 L/10 a	1	植付14日前処理	104	圃場A:<0.003 (#) ^{注2)}
(果実)	2	55. 0/0IIA/HI	潅水チューブ処理	1	植付13日前処理	118	圃場B:<0.003 (#)

注1) メチルイソチオシアネート及びメタムアンモニウムの合計濃度(メチルイソチオシアネートに換算した値)を示した。 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に 記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、登録又は申請された適用の範囲内で試験が行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

メタムナトリウム (カーバムナトリウム塩) の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	alas I referi	試験彡		/ La Pert sela life	(CL) - W	残留濃度(mg/kg) ^{注1)}
		剤型	使用量・使用方法 原液 60 L/10 a	回数	使用時期	経過日数	
ばれいしょ (塊茎)	1	30.0%液剤	土壌注入 原液 80 L/10 a	1	植付21日前	134	圃場A:0.03
	1		土壌注入	1	植付16日前	104	圃場A:0.005 (#) 注2)
	2		原液 40 L/10 a 土壌注入		植付20日前	196	圃場A:<0.005
さといも (塊茎)		30.0%液剤		1	植付17日前	230	圃場B:<0.005
(鬼全)	2		原液 60 L/10 a 土壌注入		定植17日前	195	圃場A:<0.003
					de la compa	193	圃場B:<0.003
かんしょ (塊根)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	<u>1</u>	定植22日前	144	圃場A:<0.005
					定植17日前	137	圃場B:<0.005
やまのいも (塊茎)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	<u>1</u>	定植27日前 定植29日前	196 209	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
			原液 40 L/10 a		植付32日前	166, 177	圃場A:<0.005(1回, 植付32日前, 166日)
こんにゃく	2		土壌注入		植付19日前	159, 169	圃場B:0.007 (1回, 植付19日前, 159日)
(球茎)	_	30.0%液剤	原液 60 L/10 a	<u>1</u>		207	圃場A:<0.01
	2		土壌注入		定植21日前	156	圃場B:<0.01
			原液 40 L/10 a		は種21日前	74	圃場A:<0.005
だいこん	4	30.0%液剤	土壌注入	1	(よ作品21口刊)	98	圃場B:0.010
(葉部)	4	50. U/MX/A1	3倍希釈 180 L/10 a	1	は種18日前	77	圃場C:<0.003
			土壌散布混和		は種17日前	69	圃場D:0.006
	2		原液 40 L/10 a		は種21日前	74	圃場A:<0.005
だいこん (+9 ***)		30.0%液剤	土壌注入	<u>1</u>		98	圃場B:<0.005
(根部)	2		3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種18日前	77	圃場C:<0.003
					は種17日前	69	圃場D:0.005
だいこん(幼葉) (つまみ菜・間引き菜)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	<u>1</u>	は種21日前	28, 35 31, 38	圃場A:0.032(1回,は種21日前,28日) 圃場B:0.030(1回,は種21日前,31日)
					は種17日前	122	圃場A:<0.005
かぶ (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	<u>1</u>	は種18日前	66	圃場B:<0.005
かぶ			原液 40 L/10 a		は種17日前	122	圃場A:<0,005
(葉部)	2	30.0%液剤	土壌注入	1	は種18日前	66	圃場B:<0.005
はくさい	0	20 00/34=40	2倍希釈 160 L/10 a		作付15日前	78	圃場A:<0.005 (#)
(茎葉)	2	30.0%液剤	土壤散布混和	1	作付18日前	130	圃場B:<0.005 (#)
					定植17日前	98	圃場A:<0.005 (#)
キャベツ	4	30.0%液剤	原液 80 L/10 a	1	定植18日前	130	圃場B:0.006 (#)
(茎葉)			土壌注入		定植17日前	70	圃場C:0.005 (#)
			原液 63.3 L/10 a			84	圃場D:<0.003 (#)
ブロッコリー	2	30.0%液剤	土壌注入	<u>1</u>	定植14日前	90	圃場A:<0.006
(花蕾)			原液 60 L/10 a 土壌注入		定植16日前	98	圃場B: <0.006
ごぼう	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a	1	は種21日前	161	圃場A:<0.005
(根部)	۷	50. U/MX/A1	土壌注入	<u>+</u>	は種21日前	182	圃場B:<0.005
レタス	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a	<u>1</u>	定植17日前	63	圃場A:<0.003
(茎葉)			土壌注入			60	圃場B:0.003
たまねぎ	2	30.0%液剤	8倍希釈 640 L/10 a 土壤表面散布	<u>1</u>	は種20日前	174	圃場A:<0.003
(鱗茎)			7倍希釈 560 L/10 a 土壌表面散布		は種16日前	296	圃場B:0.008
					定植21日前	66	圃場A:<0.003
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		移植17日前	61	圃場B:0.005
ねぎ	5	30.0%液剤		1	定植23日前	195	圃場C:<0.002
(茎葉)	J J	30. U/MX/HI	3倍希釈 60 L/10 a 土壌散布混和	1	定植17日前	84	圃場A:0.003
			3.7倍希釈 222 L/10 a 土壌散布混和		定植14日前	167	圃場B:<0.002
にんにく	0	المه خلان ۵۵	3倍希釈 180 L/10 a	,	定植17日前	293	圃場A:0.02
(鱗茎)	2	30.0%液剤	土壤散布混和	1	定植27日前	278	圃場B:0.02
にら	0	المه خدرات ۵۵	100倍希釈 6000 L/10 a	,	定植21日前	213	圃場A:<0.005
(茎葉)	2	30.0%液剤	土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植14日前	137	圃場B:0.005
にら (花茎)	2	30.0%液剤	42倍希釈 2500 L/10 a 土壌表面散布(灌水処理)	1	定植 <u>10</u> 日前	107, 114, 121	圃場A:0.01(1回, 定植10日前, 107日)
(16全)			上水水田駅川 (惟小だ柱)			112, 119, 126, 147	圃場B:0.02(1回,定植10日前,119日)
			原液 40 L/10 a	1	13 mm = 1 1 1 2 mm	126, 133	圃場A:<0.005(1回, は種21日前, 126日)
にんじん	2	المختلف من م	土壌注入		は種21日前	145, 152	圃場B:<0.005 (1回, は種21日前, 145日)
(根部)	0	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a	1	は種20日前	158	圃場A:<0.003
	2		土壌散布混和		は種17日前	127	圃場B:<0.003

メタムナトリウム (カーバムナトリウム塩) の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験		試験多		形印 中 (/1 /注1)		
辰作物	圃場数	剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	· 残留濃度(mg/kg) ^{注1)}
			原液 40 L/10 a		定植27日前	76	圃場A:0.002
トマト	4	30.0%液剤	土壌注入	1	定植21日前	79	圃場B:<0.005
(果実)	*	OV. V/MIX/HI	3倍希釈 180 L/10 a		定植17日前	67	圃場C:<0.003
			土壤散布混和		定植26日前	108	圃場D:<0.003
	2		原液 40 L/10 a	<u>1</u>	定植20日前	70	圃場A:0.008
ピーマン		30.0%液剤	土壌注入	±	定植18日前	59	圃場B:<0.005
(果実)	2	50. O/MX A1	原液 80 L/10 a	1	定植24日前	75	圃場A:<0.01 (#)
			土壌注入	1	定植21日前	83	圃場B:<0.01 (#)
	2		原液 40 L/10 a	<u>1</u>	定植17日前	59	圃場A:<0.005
なす		30.0%液剤	土壌注入		,	77	圃場B:<0.005
(果実)	2		原液 80 L/10 a	1	定植21日前	84	圃場A:<0.01 (#)
			土壌注入			76	圃場B:<0.01 (#)
	2		原液 40 L/10 a		定植10日前	49, 56	圃場A:<0.005(1回, 定植10日前, 49日)
きゅうり		30.0%液剤	土壌注入	<u>1</u>	定植21日前	62, 69	圃場B:<0.005(1回, 定植21日前, 62日)
(果実)	2		3倍希釈 180 L/10 a		定植18日前	46	圃場A:<0.003
			土壌散布混和		定植24日前	86	圃場B:0.006
			3倍希釈 180 L/10 a		定植20日前	109	圃場A:<0.003
かぼちゃ (果実)	3	30.0%液剤	土壌散布混和	<u>1</u>	定植17日前	87	圃場B:0.003
(***)			5倍希釈 300 L/10 a 土壌散布混和		定植27日前	99	圃場C:0.034
	2		原液 40 L/10 a			86	圃場A:<0.005
	2		土壌注入		定植21日前	91	圃場B:<0.005
			100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布	1	,_,_	184	圃場A:<0.003
すいか (果実)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植17日前	104	圃場B:<0.003
	2		0.4 L/m² (床土) +原液 60 L/10 a (本圃)	2	定植39日前	77	圃場A:<0.003 (#)
			土壌注入		定植17日前	91	圃場B:0.023(#)
	2		原液 40 L/10 a		定植21日前	106	圃場A:<0.005
			土壌注入		定植32日前	113	圃場B:<0.005
メロン (果実)	2	30.0%液剤	100倍希釈 8000 L/10 a 土壌表面散布	1	定植36日前	137	圃場A:<0.005
			3倍希釈 240 L/10 a 土壌表面散布		定植17日前	96	圃場B:<0.005
			原液 40 L/10 a		は種17日前	51, 64	圃場A:0.044 (1回, は種17日前, 51日)
ほうれんそう	4	30.0%液剤	土壌注入	<u>1</u>		51, 58	圃場B:0.028(1回,は種17日前,58日)
(茎葉)			3倍希釈 180 L/10 a		は種19日前	55	圃場C:0.005
			土壌散布混和	-	は種20日前	50	圃場D:0.004
チンゲンサイ (茎葉)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	44	圃場A:0.02
(,1-)			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1		45	圃場B:<0.01
みずな (茎葉)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	55	圃場A:0.06
				-	⇔ ₩07 □ →	49	圃場8:0.02
しょうが (塊茎)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	195	圃場A:<0.005
(/6X/			工 水上/、	1	定植41日前	229	圃場B:<0.005
未成熟えんどう	3	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a	1	は種18日前 は種19日前	121 140	圃場A:0.011 圃場B:<0.003
(きや)	3	30.0/6代2月1	土壌散布混和	1	定植20日前	82	圃場C:<0.003
9 - 5 >*			0份多年 100 1 / 20	1	定植33日前	230	圃場A:<0.003
みょうが (花穂)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	<u>1</u>	定植17日前	76	圃場B:<0.003
				1	시드기보고 (日 刊)	158, 165	圃場A:<0.005 (1回, 定植21日前, 158日)
1.74 =	2				定植21日前	140, 148	圃場B:<0.005 (1回, 定植21日前, 138日)
いちご (果実)		30.0%液剤		<u> 1</u>	植付17日前	96	圃場A:<0.003
	2		3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		植付18日前	131	圃場B:<0.003
みれ ノエルノソエナン	1		エススルルスト	1			四:刈口・10.000

注1) メチルイソチオシアネート及びメタムアンモニウムの合計濃度(メチルイソチオシアネートに換算した値)を示した。

当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作 物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。 注2) (#)印で示した作物残留試験は、登録又は申請された適用の範囲内で試験が行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

メチルイソチオシアネートの作物残留試験一覧表(国内)

大きから		試験			試験条	.件		
大きから	農作物		剤型	使用量・使用方法			経過日数	残留濃度(mg/kg) ^{注1)}
(機会) 2 20.0 mm 1 元素に入 2 20.0 mm 40.1/10 s 1 元素に入 1 元素に入 2 2 2 2 2 2 2 2 2	やまのいも							圃場A:0.057
(東京) 2 20.0 (新州 中央) 40 L/10 a 1 接接法人 1 接接法 1 接法 1 接 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		2	20.0%油剤		<u>1</u>	植付36日前処理	243	圃場B:<0.005
(株学) 2 20.0 四個	こんにゃく			40 L/10 a		植付20日前処理	178	圃場A:0.006
		2	20.0%油剤		1	植付16日前処理	162	圃場B:<0.005
						は種15日前処理	86	圃場A:<0.04
「保部 6 20. 株田利 上東注入 日本 上東注入 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日						は種19日前処理	82	圃場B:<0.04
(根部)	だいこん		00 00/14-441	40 L/10 a) 1 ff o 4 H - 24 / H - 7 H	76	圃場C:<0.02
	(根部)	ь	20.0%油剤		1	は種21日削処理	81	圃場D:<0.02
だいこん (業務)						没種14□益加頭	69, 76, 83	圃場E:<0.01(1回,は種14日前,69日)
						74年14日刊20年	61, 69, 75	圃場F:<0.01(1回,は種14日前,61日)
大きいこん (養館) 10 10 10 1 1 1 1 1 1						は種15日前処理	86	圃場A:<0.04
「保部的 6 20.0% 前別 上海注入 1 日本化 1						は種19日前処理	82	圃場B:<0.04
大学にたん		6	20 0%油剤		1	け種91日前処理	76	圃場C:<0.01
だいてん (つまみ葉 一関引き等) 2 20.0%曲別 + 1を注入 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(葉部)	O	20. Олиди	土壌注入	<u> </u>	(よ)里21日前及2年	81	—
デレンこん (つまみ葉・田月き楽) 2 20.0%曲剤 土壌に入 1 は種目 単純型 25.34 週間を20.005 (1回1.技種14目前、22日) かぶ (援節) 2 20.0%曲剤 土壌に入 1 は種20日前必煙 76 周期などのの5 (1回1.技種14目前、22日) がぶ (装節) 2 20.0%曲剤 40 L/10 a 土壌に入 1 は種20日前必煙 76 周期などのの5 (1回1.技種14目前、22日) がぶ (装節) 2 20.0%曲剤 40 L/10 a 土壌に入 1 は種20日前必煙 76 周期などのの5 (1回1.対策の5 (2年) 76 同間に対策の5 (2年) 7						け種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01(1回,は種14日前,69日)
(今支み菜・関引き菜) 2 20.0 結晶						13年11日前之左	61, 69, 75	圃場F:<0.01(1回,は種14日前,61日)
1		2	20 0%油剤		1	け種14日前処理	22, 28	圃場A:<0.01(1回,は種14日前,22日)
(検報) 2 20.0 時間	(つまみ菜・間引き菜)	,	=«. V/MH/Л1	土壤注入			26, 34	
1		2.	20.0%油剤		1			
注検さい 1	(根部)	_	20.0/0IM/J1	土壌注入	_			
1		2	20.0%油剤		1			— »·
***	(集部)		v/vIPM/TU	土壌圧入	_			
本字		2	20.0%油剤		1			— ···
「快郎 2 20.0%治剤 上検注入 1 14(1)10 a L+検注入 1 14(1)10 a L+検注L+ 14(1)10 a L+(1)10 a L+(1	(圣葉)			土壌汪人	_			
		2	20.0%油剤		1			— »·
(根部) 2 20.0%曲剤 土壌注入 1 (株型2日前処理 161,168,175 間場8:<0.01 (1回,社種21日前,161日) 162,133 (1回場21日前,161日) 164,134 (1回場21日前,161日) 164,134 (1回場21日前処理 163,134 (1回場21日前,161日) 164,134 (1				工壌注入	_	植付16目前処理		—
大学に入 161,168,175 188 187: 0.01 (1回, 16世 16目		2	20.0%油剤	40 L/10 a	1	は種21日前処理		
大きれき (経業) 2 20.0%油剤 土壌注入 1 極行21目前処理 52.50.66 圃場B: 1 1 54.201.208 1 1 1 1 1 1 1 1 1				工場往八		_		
たまねぎ ((((((((((((((2	20.0%油剤	40 L/10 a 小紋汁 7	1	植付21日前処理		
たまれぎ (鰡茎) 2 20.0%油剤 土壌注入 40 L/10 a 土壌注入 1 植付14目前処理 植付2目前処理 植付2目前処理 植付2目前处理 植付2目前处理 185,192,199 週場2.0,01 (1回,権付14日前,192日) 種付2目前处理 植付2目前处理 185,192,199 週場2.0,005 週場2.0,005 おぎ (様決さぎ) (茎葉) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付2目前处理 土壌注入 185,192,199 週場2.0,005 週場2.0,005 週場2.0,005 回場2.0,005 回場2.0,005 回場2.0,005 回場2.0,005 回場2.0,005 回場2.0,002 (1回,権付17日前,173日) 11日前处理 植付2日前处理 173,180,187 回場2.0,002 (1回,権付2日前,173日) 11日前处理 植付2日前处理 185,192,197 回場2.0,002 (1回,権付2日前,173日) 11日前处理 植付2日前处理 120,121 12日前处理 173,180,187 12日前2.0 (1回,椎付14日前,184日) 12日前处理 173,180,187 12日前2.0 12日前2日前2日 週場2.0,002 (1回,権付14日前,181日) 13日前2日 週場2.0,002 (1回,権付14日前,181日) 12日前2日 週場2.0,002 (1回,権付14日前,181日) 12日前2日 週場2.0,005 (1回,権付14日前,181日) 12日前2日 週場2.0,005 (1回,権付14日前,181日前,181日) 12日前2日 12日前2日前2日 12日前2日前2日 12日前2日前2日 12日前2日前2日 1	(全米)			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *				圃場B:<0.01 (1回, 稙付21日前, 52日)
(編室) 2 20.6%油剤	de de la de							圃場A:<0.01(1回, 植付14日前, 194日)
上壌注入 植付21日前処理 185, 192, 199 間場から、0.0 (1円)・植付13日前, 192日) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		2	20.0%油剤		<u>1</u>		201, 200, 210	
20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 146 圃場形:(0.005 1回, 植付13日前,173日) 1 146 圃場形:(0.005 1回, 植付13日前,173日) 1 147 1 148 148 149 14	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						185, 192, 199	圃場B:0.01(1回, 植付14日前, 192日)
接換 1						植付21日前処理	182	圃場A:<0.005
株付13日前処理		3	20.0%油剤		1	植付31日前処理	146	圃場B:<0.005
(玄葉) 2 20.0%油剤 土壌注入 1 植付14日前処理 88,95,102 圃場B:<0.02 (1回,植付14日前,88日) 1 植付28日前処理 292 圃場A:0.034 (#) 注2 239 圃場B:<0.005 (#) 239 144 (#) 24	(全米)			上泰任八		植付13日前処理	173, 180, 187	圃場C:<0.02(1回, 植付13日前, 173日)
(全来)	ねぎ (葉ねぎ)	0	00 00/3H- \$ 1	40 L/10 a	,	植付27日前処理	113, 120, 127	圃場A:<0.01(1回, 植付27日前, 113日)
(検案) 2 20.0%油剤	(茎葉)	4	20.0%佃利	土壌注入	<u> </u>	植付14日前処理	88, 95, 102	圃場B:<0.02(1回, 植付14日前, 88日)
	にんにく	9	20 00/油丸1	40 L/10 a	1	插什20日前加 理	292	圃場A:0.034 (#) ^{注2)}
大塚注入 1	(鱗茎)	2	20.0%(田河)	土壌注入	1	他刊20日前处理	239	圃場B:<0.005(#)
大塚住人 1		9	20.0%油刻		1	植付24日前処理	305	圃場A:<0.005
1	(鱗茎)	2	20. Олиди	土壤注入	<u> </u>	植付21日前処理	292	圃場B:0.012
にんじん (根部) 1 土壌注入 44.4 L/10 a 土壌注入 1 は種27日前処理 は種28日前処理 143						は種15日前処理	134, 197	圃場A:<0.05(1回,は種15日前,134日)
(根部) 1	N . N					は種20日前処理	185	
14/2 画場): < 0.00s 14/3 14/4 画場): < 0.00s 14/4 14/4 16/		5	20.0%油剤	土壌注入	<u>1</u>			
トマト (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 種付18日前処理 71,84 圃場A:0.017 (1回, 植付18日前,71日) ミニトマト (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付17日前処理 65,73 圃場A:0.005 (1回, 植付17日前,65日) まニトマト (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付18日前処理 80,87,94 圃場A:0.03 (1回, 植付17日前,80日) なす (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付18日前処理 54,75 圃場A:0.012 (1回, 植付19日前,54日) きゅうり (果実) 40 L/10 a 土壌注入 1 植付15日前処理 52,77 圃場A:0.003 (1回, 植付15日前,52日) きゅうり (果実) 40 L/10 a 土壌注入 1 植付21日前処理 54,63,75 圃場C:0.006 (1回, 植付21日前,63日) すいか 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付21日前処理 94 圃場A:0.009	(14,417)					は種28日前処理	147	圃場D:<0.005
トマト (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 種付18目前処理 71,84 圃場A:0.017 (1回,植付18目前,71日) ミニトマト (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 種付18目前処理 80,87,94 圃場A:0.03 (1回,植付17日前,80日) なす (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付18目前処理 54,75 圃場A:0.012 (1回,植付18日前,98日) をす (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付18目前処理 54,75 圃場A:0.005 (1回,植付18日前,54日) きゅうり (果実) 40 L/10 a 土壌注入 1 植付15日前処理 52,77 圃場A:0.003 (1回,植付15日前,52日) 65,76,88 圃場B:<0.003 (1回,植付15日前,65日)						は種17日前処理	166, 233	圃場E:<0.05(1回,は種17日前,166日)
(果実) 2 20.0%油剤 土壌注入 1 植付17日前処理 65,73 圃場B:<0.005 (1回,植付17日前,65日)	トマト					植付18日前処理	71, 84	圃場A:0.017(1回, 植付18日前, 71日)
ミニトマト (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付17日前処理 植付18日前処理 80,87,94 圃場A:0.03 (1回,植付17日前,80日) なす (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付19日前処理 植付18日前処理 54,75 圃場A:0.012 (1回,植付19日前,54日) きゅうり (果実) 4 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付15日前処理 植付15日前処理 52,77 圃場A: 0.003 (1回,植付15日前,52日) きゅうり (果実) 40 L/10 a 土壌注入 1 植付21日前処理 54,63,75 圃場C:0.006 (1回,植付21日前,63日) すいか 2 20.0%油剤 40 L/10 a 1 植付21日前処理 94 圃場A: 0.009		2	20.0%油剤		1			
(果実) 2 20.0%油剤 土壌注入 1 植付18日前処理 98,105,112 圃場B:<0.01 (1回,植付18日前,98日) なす (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付18日前処理 54,75 圃場A: 0.012 (1回,植付19日前,54日) きゅうり (果実) 4 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付15日前処理 52,77 圃場A: <0.003 (1回,植付15日前,52日) きゅうり (果実) 40 L/10 a 土壌注入 1 植付21日前処理 54,63,75 圃場C: 0.006 (1回,植付15日前,63日) すいか 2 20.0%油剤 40 L/10 a 1 植付21日前処理 94 圃場A: 0.009	ミニトマト		00 00/34 4-4	40 L/10 a				
なす (果実) 2 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付19日前処理 植付18日前処理 54,75 圃場A:0.012 (1回,植付19日前,54日) きゅうり (果実) 40 L/10 a 土壌注入 1 植付18日前処理 植付15日前処理 52,77 圃場A: < 0.003 (1回,植付15日前,52日)		2	20.0%油剤		1			
(果実) 2 20.0%油剤 土壌注入 植付18日前処理 71,84 圃場B:<0.005 (1回,植付18日前,71日)	なす		00 00/14-4	40 L/10 a	_	植付19日前処理	54, 75	圃場A:0.012(1回, 植付19目前, 54日)
きゅうり (果実) 4 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付15日前処理 52,77 圃場A:<0.003 (1回,植付15日前,52日) 65,76,88 圃場B:<0.003 (1回,植付15日前,52日) 65,76,88 圃場B:<0.003 (1回,植付15日前,65日) 54,63,75 圃場C:0.006 (1回,植付21日前,63日) 67,78,88 圃場D:0.005 (1回,植付21日前,67日) 67,78,88 圃場D:0.005 (1回,植付21日前,67日) 67,78,88 圃場D:0.009		2	20.0%油剤		1			
きゅうり (果実) 4 20.0%油剤 40 L/10 a 土壌注入 1 植付21日前処理 65,76,88 圃場B:<0.003 (1回,植付15日前,65日) 54,63,75 圃場C:0.006 (1回,植付21日前,63日) 67,78,88 圃場D:0.005 (1回,植付21日前,67日) 1 は付21日前処理 94 圃場A:0.009								
(果実) 4 20.0%油剤 土壌注入 1 植付21日前処理 54,63,75 圃場C:0.006(1回,植付21日前,63日) すいか 2 20.0%油剤 40 L/10 a 1 植付21日前処理 94 圃場A:0.009	きゅうり		00 00/3 4-4 4	40 L/10 a		他付15日前処埋		圃場B:<0.003(1回, 植付15日前, 65日)
すいか 2 20 0%沖剤 40 L/10 a 1 植付21日前処理 94 圃場A:0.009		4	20.0%沺剤		1	标件01□⇒~4□===	54, 63, 75	圃場C:0.006(1回, 植付21日前, 63日)
すいか 2 20.0%油剤 40 L/10 a 1 植付21日前処理 94 圃場A:0.009						他行 <u>21</u> 日前処埋	67, 78, 88	圃場D:0.005(1回,植付21日前,67日)
	すいか	0	00 00/3#±- \$ #	40 L/10 a	-1	植付21目前処理	94	
		4	ZU. U%油剤		Ţ	植付22日前処理	114	圃場B:<0.005

メチルイソチオシアネートの作物残留試験一覧表(国内)

農作物	試験			試験条	件		rt (7.7) 地 中 (7.1)注1)
展下物	圃場数	剤型 使用量・使用方法		回数	使用時期	経過日数	残留濃度(mg/kg) ^{注1)}
メロン	2	20.0%油剤	40 L/10 a	1	植付28日前処理	112	圃場A:<0.005
(果実)	4	20.0%(田河)	土壌注入	1	植付30日前処理	113	圃場B:<0.005
					は種28日前処理	89	圃場A:0.033
ほうれんそう (茎葉)	4	20.0%油剤	40 L/10 a	1	は種29日前処理	72	圃場B:0.006
	4	20. Омидя	土壌注入	1	は種28日前処理	66	圃場C:0.031
					7よ1里20日 削火が生	57	圃場D:0.015
しょうが	2	20.0%油剤	40 L/10 a	1	植付20日前処理	159, 166, 173	圃場A:<0.01 (1回, 植付20日前, 159日)
(根茎)	2	20.0%四月1	土壌注入	1	植付21日前処理	228, 235, 242	圃場B:<0.01 (1回, 植付21日前, 228日)
ふき	2	20 00/油丸1	40 L/10 a	1	植付28日前処理	140	圃場A:<0.005
(可食部)	2	20.0%油剤	土壤注入	1	但刊20日前处理	155	圃場B:<0.005
いちご	0	20.0%油剤	40 L/10 a	1	植付22日前処理	206	圃場A:<0.005
(果実)	2	20.0%阳角	土壌注入	1	植付17日前処理	237	圃場B:<0.005

注1) 表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、登録又は申請された適用の範囲内で試験が行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

食品名					Ź	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
飲わいしま 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.03	食品名				国際	外国	作物残留試験成績等
きといも類(やつがしらを含む。) 0、02 0、02 0、02 0 0 No: 0.003(0,003(4) No: 0.005(0,005(4) MTC: (0.005,0.05(4) MTC: (0.0				有無			ppm
きといも類(やつがしらを含む。) 0、02 0、02 0、02 0 0 No: 0.003(0,003(4) No: 0.005(0,005(4) MTC: (0.005,0.05(4) MTC: (0.0	ばれいしょ	0.2	0. 2	0		:	Na: 0.005(#), 0.03(¥)
やまいも(長いもをいう。) 0.3 0.3 0.3 0.3 0.5 MIT (0.005, 0.057(9) こんにゃくいち 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.00	さといも類(やつがしらを含む。)	0.02	0.02	0			Na: <0.003, <0.003(¥)
こんにゃくいも 0.05 0.05 ○ No.10.01(*)** でんさい 0.02 ○ 0.02 ○ Do.00.00(*)** だいこん類(デディッシュを含む。)の様 0.04 0.05 ○ MITC: 30.01~(0.04(n=0))** だいこん類(デディッシュを含む。)の第 2 2 ○ Do.00(1.09(n))** がぶ類の葉 0.01 0.02 ○ MITC: 30.05(0.005(n))** たいこん類(デディッシュを含む。)のの 0.02 ○ MITC: 30.005(n=0)** No.10.005(n=0)** No.10.005(n=0)** No.10.005(n=0)** No.10.005(n=0)** No.10.005(n=0)** No.11 0.05(0.005** MITC: 30.005(0.005** No.10.005(0.005** No.10.005(0.005							
でんさい 0.02 0.02 0.02 0 D: 0.005, 0.005(e) (ヤ) だいこん類(ラディッシュを含む。)の様 0.01 0.05 0 D: 0.021, 0.599(Y) (つまみ) かぶ類の薬 0.01 0.02 0 D: 0.021, 0.599(Y) (つまみ) N: 0.005(en) N							
だいこん類(ラディッシュを含む。)の様 0.04	こんにゃくいも	0.05	0. 05	0		[Na : <0.01, <0.01(¥)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の整 2 0.01 0.02 ○	てんさい	0.02	0.02	0			D: <0.005, <0.005(#)(¥)
かぶ類の様	だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.04	0.05	0		;	MITC : <0.01~<0.04(n=6)
か	だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	2		0			D: 0.021, 0.599(¥)(つまみ菜)
かぶ類の薬	かぶ類の根	0.01	0.02	0			
かぶ類の薬							
Ns: (0, 005, (0, 005 MITC: (0, 005, (0, 005 Nc), (0, 005	かぶ類の葉	0.01	0.02	0		ļ ;	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
はくさい				_			
トヤベツ	1+2 +1)	0.01	0.02				*
サイ・ペツ	17 / 51.	0.01	0.02	0			
ケール							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ままつな		0.02	0.02				
まような						;	
サンゲンサイ				0 1		;	, ,
カリフラワー フィッコリー				_			
プロッコリー				_			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
での他のあぶらな科野菜				_			*
でぼう							
しゅんぎく レタス (サラダ葉及びちしゃを含む。) 0.05 0.05 ○ 0.02 ② 0.02 ② 0.1 ○ 0.1 ○ 0.1 ○ 0.2 ○ 0.2 ○ 0.0 ○ 0.05 ○ 0.		0.05	0.05				MITC . /0 01 /0 01 (Y)
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。) 0.05 0.1 0.1 0.1 0							*
をの他のきく科野菜				_		;	*
ねぎ(リーキを含む。)						į	
ねぎ(リーキを含む。)		0.1	0.1				D · <0 02 0 02(¥)
にんにく	· · · -						
にら		0.02	0.1				
おけぎ その他のゆり科野菜				_		;	
その他のゆり科野菜						;	
にんじん	. , -						
にんじん	での他のゆり付封木	0. 1	0. 1				
パセリ						Li	Na:0.01,0.02(にら(花茎))
セロリ みつば 0.01 0.01 0.01 0.01 0.002(¥) その他のせり科野菜 0.2 <td< td=""><td>にんじん</td><td>0. 05</td><td>0. 1</td><td>0</td><td> </td><td> </td><td>MITC: <0.005~<0.05(n=5)</td></td<>	にんじん	0. 05	0. 1	0			MITC: <0.005~<0.05(n=5)
みつば その他のせり科野菜	•	0.03	0.03				D: 0.005, 0.007(¥)
その他のせり科野菜	•						
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜 0.05 かぼちゃ(スカッシュを含む。) すいか メロン類果実 の他のうり科野菜 0.1 0.1 0.2 0.5 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.1 0.1 0.05							*
ピーマン	ての他のせり科野采 	0.2	0. 2	<u> </u>		ļ <u>.</u>	ν: <0. 04, <0. 04(¥)(めしたは)
なす			0.5				
その他のなす科野菜 0.02 0.02 ○ D: <0.004, <0.004, ⟨0.004, ⟨0.004(\v) (ししとう)							
きゅうり(ガーキンを含む。)							
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	てい他のより件野米	0.02	0.02	<u> </u>		ļ	ν. \0. 004, \0. 004(キ)(ししとり)
すいか メロン類果実 その他のうり科野菜 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.0		0.08	0.05				
メロン類果実 0.02 0.02 ○ Na: <0.005, <0.005(\bar{\text{\tinit\text{\tint{\texi}\texitit{\text{\text{\texitex{\text{\t							
その他のうり科野菜 0.1 0.1 MITC: <0.005, <0.005(¥) D: <0.01, 0.02(¥)(にがうり)							
その他のうり科野菜 0.1 0.1 ○ D: <0.01, 0.02(¥)(にがうり) ほうれんそう 0.1 0.2 ○ Na: 0.004~0.044(n=4)	メロン類果美	0.02	0. 02	O			
	その他のうり科野菜	0.1	0. 1	0			
	ほうれんそう	0.1	0.2	0			Na: 0.004~0.044(n=4)
	しょうが	0.1					D: <0.02, <0.02(\forall)

				7		
食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	0. 1 0. 02 0. 05	0. 1 0. 02 0. 05	_	PP		D: 0.006, 0.018(¥) (さやえんどう) D: <0.004, <0.004(¥) D: <0.009, <0.009(¥)
その他の野菜	0. 1	0. 1	0			(未成熟えんどう参照)
いちご	0. 02	0. 02	0		:	MITC: <0.005, <0.005(\)
その他のハーブ	0.3	0. 1	○・申			D: <0.01,0.09(¥) (しそ)

申請(国内における登録、承認等の申請、インポートトレランス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

- (#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。
- (¥)作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。
- 作物残留試験成績等については、ダゾメット(D)、メタムアンモニウム(NH4)、メタムナトリウム(Na)及びメチルイソチオシアネート(MITC)の内、最大残留濃度が認められた剤の試験成績をMITCに換算した値で表している。
- ※1 使用量が20 kg/10 aの圃場A、Bと30 kg/10 aの圃場A、Bとは同一圃場なので、それぞれの圃場の平均値0.015及び0.02を記載した。
- ※2 きゅうりについてはプロポーショナリティ (proportionality) の原則に基づき、処理量の比例性を考慮して換算した。

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量 (単位: μg/人/day)

クノ / ツド、 / グ	ダンメット、メダム及いメナルインナオンテネートの推走摂取重						(単位:µg/ 人/ day)			
食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ばれいしょ	0. 2		7. 7				8. 4	0.7		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.02	0.003	0. 1		0.0					
かんしょ	0.02	0.005	0. 1	0.0	0. 1					
シャン・ション やまいも (長いもをいう。)	0. 3	0.003	0. 9		0. 3	0.0	0. 5	0.1		
こんにゃくいも	0.05	0.031	0. 1		0. 0					
							1		(· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
てんさい	0.02	0.005	0. 7	0.2	0.6	0.1	0.8	0.2	0.7	0. 2
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.04	0.023	1.3	0.8	0. 5	0.3	0.8	0. 5	1.8	1. 1
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根 だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	2	0.31	3.4	0.5	1.2	0.2	6.2	1.0	5. 6	0.9
かぶ類の根	0.01	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
かぶ類の葉	0.01	0.005	0.0	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0
はくさい	0.01	0.0055	0. 2		0.1			0.1	0.2	
キャベツ	0.02	0.005	0. 5	0.1	0.2	0.1			0.5	0. 1
ケール	0.02	0,006	0.0		0.0					
ケール こまつな	0.02	0,006	0. 1	0.0	0.0					0.0
きょうな	0. 3	0.04	0. 7	0.1	0. 1					
チンゲンサイ	0. 1	0, 015	0. 2		0.1					
チンゲンサイ カリフラワー	0.01	0.002	0. 0		0.0					
ブロッコリー	0.03	0.006	0.2		0.1	0.0			0.2	0.0
その他のあぶらな科野菜	0. 2	0.02	0. 7	0.1	0. 1		0. 2	0.0		
ごぼう	0.05	0. 01	0. 2	0.0	0. 1		<u> </u>		<u> </u>	
こ <i>は)</i> 1 .1 / ゼ /	0.05	0.0085			0. 1					
しゅんぎく レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.05	0.0085	0. 1 0. 5	0.0	0.0	0.0	0.1			
レクへ(リフク来及いらしゃを含む。) その他のきく科野菜	0.05	0.012	0. 5	0. 1	0. 2					
									ļ	ç .
たまねぎ	0.1	0.02	3. 1	0.6	2. 3					
ねぎ (リーキを含む。)	0.02	0.012	0. 2	0.1	0.1					
にんにく にら	0.2	0.0195	0. 1		0.0			0.0		
C 6	0.02	0.005	0.0		0.0					
わけぎ	0.1	0.0175	0.0		0.0					
その他のゆり科野菜	0.1	0.0145	0. 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
にんじん	0.05	0.032	0.9	0.6	0.7	0.5	1.1	0.7	0.9	0.6
パセリ	0.03	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他のせり科野菜	0.2		0.0		0.0					
トマト	0. 5	0. 0655	16. 1	2. 1	9. 5	1.2	16. 0	2. 1	18. 3	2. 4
ピーマン	0. 1	0.000	0. 5		0. 2					
なす	0.05		0.6	0. 1	0. 1					
なり その他のなす科野菜	0.02	0.002	0.0	0.0	0. 0					
							· • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		(··-··	(··-··
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.08	0.018	1. 7		0.8					
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.1	0.022	0.9		0.4					
オルンを用字	0.05	0.007	0. 4		0.3					
メロン類果実	0.02	0.005	0. 1	0.0	0. 1					
その他のうり科野菜	0.1	0.015	0.3		0.1		*		<u> </u>	(·····
ほうれんそう	0.1	0.02	1. 3		0.6					
しょうが	0.1	0.02	0. 2	0.0	0.0					
未成熟えんどう 未成熟いんげん	0.1	0.012	0. 2							
未成熟いんげん	0.02	0.004	0.0	0.0	0.0					
えだまめ	0.05	0.009	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他の野菜	0.1	0.012	1. 3	0.2	0.6	0.1	1.0	0.1	1.4	0. 2
いちご	0.02	0.005	0. 1	0. 0	0. 2					
、 う その他のハーブ									<u> </u>	
	0.3	0.05	0.3	0.0	0.1					0. 1
	1		46. 1	7.9	26. 7	4. 4	47.5	8.0	53. 6	9.3
計 ADI比(%)			20. 9							

TMDI:理論最大1日摂取量(Theoretical Maximum Daily Intake) TMDI試算法:基準値案×各食品の平均摂取量 EDI:推定1日摂取量(Estimated Daily Intake) EDI試算法:作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量(短期):国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	(ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	(μg/kg 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
ばれいしょ	ばれいしょ	0.2	0.2	1. 9	2
さといも類(やつがしらを含む。)	さといも	0.02	0.02	0. 1	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.3	0
やまいも(長いもをいう。)	やまいも	0.3	0.3	2. 4	2
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	だいこんの根	0.04	0.04	0.5	1
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	だいこんの葉	2	2	16. 5	20
かぶ類の根	かぶの根		0.005	0.0	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.01	0.005	0.0	0
はくさい	はくさい キャベツ		0.006	0.1	0
ケール	<u>- キャペク</u> - ケール	0.02	0. 02 0. 02	0. 2	0
こまつな	こまつな	0.02	0.02	0. 2	0
		0.02	i i	1.0	· -
きょうな	きょうな		0.3		1
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.1	0.1	0.7	1
カリフラワー ブロッコリー	カリフラワー ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
	たかな	0.03	0.03	1.6	2
その他のあぶらな科野菜	<u> たかな </u>	0.2	0. 2	0.6	1
→ 1,1,1,2	ごぼう				· -
ごぼう しゅんぎく	こはり しゅんぎく	0.05	0.05 0.05	0. 2	0
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	·レゆんさく ·レタス類		0.05	0. 2	0
たまねぎ	<u>レクへ短</u> たまねぎ	0.05	0.1	0. 8	; 0 ' 1
ねぎ(リーキを含む。)	<u>- たよねと</u> - ねぎ	0.02	0.02	0. 0	0
にんにく	にんにく	0.2	0. 2	0. 1	0
k6	にら	0.02	0.02	0.0	. 0
わけぎ	わけぎ		0.02	0.0	0
	にんにくの芽	0. 1	0.1	0. 2	0
その他のゆり科野菜	らっきょう	0. 1	0. 1	0. 1	0
	にんじん	0.05	0.05	0. 2	0
にんじん	にんじんジュース		0.05	0.3	0
	パセリ (生)	0.03	0.03	0.0	0
パセリ	パセリ (乾燥)	0.03	0.03	0.0	0
セロリ	セロリ	0.01	0. 01	0. 1	0
みつば	みつば	0. 1	0. 1	0. 1	0
その他のせり科野菜	せり	0. 2	0. 2	0. 3	0
トマト	トマト	0. 5	0. 5	5. 5	6
ピーマン	ピーマン	0.1	0. 1	0.3	0
なす	なす	0.05	0.05	0.3	0
その他のなす科野菜	とうがらし (生)	0.02	0.02	0.0	0
	ししとう	0.02	0.02	0.0	0
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり かぼちゃ	0. 08 0. 1	0.042	0.3 1.0	0
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	ズッキーニ	0.1	0.1	0.7	1 1
すいか	すいか	0.05	0.05	1.6	2
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0. 3	0
	とうがん	0. 1	0. 1	1. 7	2
その他のうり科野菜	にがうり	0.1	0.1	0.8	1
ほうれんそう	ほうれんそう		0.044	0. 2	0
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0. 1	0
	未成熟えんどう(さや)	0.1	0.1	0. 2	0
未成熟えんどう	<u>未成熟えんどう(豆)</u>	0.1	0.1	0. 2	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0. 02	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.05	0.05	0. 1	0
	ずいき	0. 1	0. 1	1. 0	1
Z o Ali o mz tłe	もやし	0. 1	0. 1	0. 2	0
その他の野菜	れんこん	0. 1	0. 1	0.6	1
	そら豆(生)	0. 1	0.1	0.3	0
いちご	いちご	0.02	0. 02	0. 1	0
ESTI:短期推定摂取量(Estimated Short-Term Int		. 0.02		V+ 1	

ESTI: 短期推定摂取量(Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁(値が100を超える場合は有効数字2桁)とし四捨五入して算出した。

〇:作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量(短期):幼小児(1~6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (µg/kg 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
ばれいしょ	:ばれいしょ	0.2	0.2	4. 5	5
さといも類(やつがしらを含む。)	さといも	0.02	0.02	0.3	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.5	1
やまいも(長いもをいう。)	やまいも	0.3	0.3	4. 1	4
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	だいこんの根	0.01	0.04	0.9	1
はくさい	はくさい		0.006	0.1	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.3	0
こまつな	こまつな	0.02	0.02	0.2	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.4	0
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.3	0
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類		0.02	0.2	0
たまねぎ	たまねぎ	0. 1	0.1	1.8	2
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	0.02	0.02	0.1	0
にんにく	にんにく	0.2	0.2	0.1	0
にら	にら	0.02	0.02	0.0	0
にんじん	にんじん	0.05	0.05	0.5	1
パセリ	パセリ (生)	0.03	0.03	0.0	0
トマト	トマト	0.5	0.5	13.6	10
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.7	1
なす	なす	0.05	0.05	0.8	1
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.08	0.042	0.6	1
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0. 1	0.1	1.6	2
すいか	すいか	0.05	0.05	4. 3	4
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.6	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0. 1	0.044	0.5	1
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう(さや)	0. 1	0.1	0.1	0
TANK LIUC J	未成熟えんどう (豆)	0. 1	0.1	0.2	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.1	0
えだまめ	えだまめ	0.05	0.05	0.1	0
その他の野菜	もやし	0.1	0.1	0.4	0
	れんこん	0. 1	0.1	1. 0	1
いちご	いちご	0.02	0.02	0.2	0

ESTI: 短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁(値が100を超える場合は有効数字2桁)とし四捨五入して算出した。

○:作物残留試験における最高残留濃度(HR)又は中央値(STMR)を用いて短期摂取量を推計した。

これまでの経緯

平成1	7年1	1月2	9 目	残留基準告示
平成 2	5年	3月2	9 日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準
				値設定依頼(適用拡大:だいこん(つまみ菜及び間引き菜))
平成 2	5年	6月1	1 日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に
				係る食品健康影響評価について要請
平成 2	7年	3月2	4 日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評
				価について通知
平成 2	8年1	1月2	1 目	薬事·食品衛生審議会食品衛生分科会農薬·動物用医薬品部会
平成 2	9年	7月1	8日	残留農薬基準告示
平成3	0年	9月1	1 日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準
				値設定依頼(適用拡大:こまつな、にら、しそ)
令和	元年	5月2	2 日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に
				係る食品健康影響評価について要請
令和	元年	8月2	7 日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評
				価について通知
令和	元年1	2月2	0 目	薬事·食品衛生審議会食品衛生分科会農薬·動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

○穐山 浩 国立医薬品食品衛生研究所食品部長

石井 里枝 埼玉県衛生研究所副所長(兼)食品微生物検査室長

井之上 浩一 学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授

大山 和俊 一般財団法人残留農薬研究所化学部長

折戸 謙介 学校法人麻布獣医学園麻布大学獣医学部生理学教授

魏 民 公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科

環境リスク評価学准教授

佐々木 一昭 国立大学法人東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授

佐藤 清 元 一般財団法人残留農薬研究所理事

佐野 元彦 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授

瀧本 秀美 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長

永山 敏廣 学校法人明治薬科大学薬学部特任教授

根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長

二村 睦子 日本生活協同組合連合会組織推進本部長

宮井 俊一 元 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

吉成 浩一 静岡県公立大学法人静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

(○:部会長)

答申(案)

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

今回基準値を設定するダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートとは、メチルイソチオシアネートとする。 ただし、ダゾメット及びメタム由来のメチルイソチオシアネートを含めたものとする。

食品名	残留基準値
~ FF F	
h.Pila i vi i	ppm
ばれいしょ さといも類(やつがしらを含む。)	0. 2 0. 02
かんしょ	0. 02
やまいも(長いもをいう。)	0.3
こんにゃくいも	0.05
てんさい	0.02
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.04
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	2
かぶ類の根	0. 01
かぶ類の葉	0. 01
はくさい キャベツ	0. 01 0. 02
ケール	0. 02
こまつな	0. 02
きょうな	0. 3
チンゲンサイ	0.1
カリフラワー	0.01
ブロッコリー	0.03
その他のあぶらな科野菜 ^{注1)}	0. 2
ごぼう	0.05
しゅんぎく	0.05
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0. 05 0. 1
その他のきく科野菜 ^{注2)}	
たまねぎ	0. 1
ねぎ(リーキを含む。)	0.02
にんにく にら	0. 2 0. 02
わけぎ	0.02
その他のゆり科野菜 ^{注3)}	0. 1
にんじん	0. 05
パセリ	0.03
セロリ	0.01
みつば	0. 1
その他のせり科野菜 ^{注4)}	0. 2
トマト	0.5
ピーマン	0.1
なす	0.05
その他のなす科野菜 ^{注5)}	0.02
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.08
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.1
すいか	0. 05
メロン類果実	0.02

食品名	残留基準値
	ppm
その他のうり科野菜 ^{注6)}	0.1
ほうれんそう	0.1
しょうが	0. 1
未成熟えんどう	0. 1
未成熟いんげん	0.02
えだまめ	0.05
その他の野菜 ^{注7)}	0.1
いちご	0.02
その他のハーブ ^{注8)}	0.3

- 注1)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類(ラディッシュを含む。)の根、だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
- 注2)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チュリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)及びハーブ以外のものをいう。
- 注3)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ(リーキを含む。)、にんにく、 にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
- 注4)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- 注5)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
- 注6)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり(ガーキンを含む。)、かぼちゃ(スカッシュを含む。)、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
- 注7)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- 注8)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。